

同窓会報



南加記念ホール前で記念写真（2021年3月24日）



学位記授与式（3月24日）



東温市河之内の棚田（P.30）



生協学食パルト入口（5月28日）



同窓会LINEに掲載された「卒業生への応援ビデオ」



愛媛大学文理学部人文学科ならびに法文学部同窓会

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内 tel.090-1002-6376

E-mail: support@ehime-u-houbun-dousoukai.com [HP] <http://ehime-u-houbun-dousoukai.com>



第16回 法文学部同窓会 総会持ち回り開催のお知らせ

3年に1度の同窓会本部総会を11月27日(土)に予定しておりましたが、8月20日(金)現在、全国で緊急事態宣言が13都府県に、まん延防止等重点措置が16道県に発令され、総会開催地の愛媛県でも8月14日(土)に過去最多の91人の感染を確認、まん延防止等重点措置が適用される事態となっております。

収束の見えない現在の状況を踏まえ緊急三役会議を開催した結果、11月末に本部総会を通常通り開催することは難しいと判断し、第16回総会は本部理事会構成員および支部役員(支部長・支部事務局長)による持ち回り開催とさせていただきます。

審議を予定しておりました本部役員(会長・副会長・理事・監事・事務局長)の改選と同窓会規約の改定等は、上記の本部・支部の代表による書類審議とし、結果はホームページおよび来年(2022年)の会報にてご報告いたします。ただし、この持ち回りによる書類審議にご参加を希望される会員の方は、同封のアンケートはがきのチェック欄にご記入いただければ、本部事務局よりご連絡を差し上げます。

3年ぶりに皆様にお会いできることを楽しみにしておりましたが、今回はかないません。2024年開催予定の第17回総会にて皆様と親睦を深めたいと思います。

今後とも愛媛大学法文学部同窓会活動にご理解とご協力をお願いいたします。

2021(令和3)年8月20日

愛媛大学文理学部人文学科ならびに法文学部同窓会
会長 西田 和真

同窓会へ寄付をお願いいたします。

2020年度もたくさんの寄付をいただき、ありがとうございました。有効に使わせていただきます。

2021年3月31日現在

1,540,000円 総数295名

「ふるさと応援制度」を2年前から導入しました。「◎◎支部へ寄付」と記載された方の寄付額の半半を指定された支部に交付しました。

関東・関西・広島・四国

支部合計 275,500円 (2019年度61,000円)

引き続きこの制度を活用して、支部活動への支援をお願いします。本部でも、寄付や本部会計の中から支部活動を支援しております。

また、法文学部生のため、愛媛大学基金を通じて50万円を寄付しました。2020年度はコロナの影響で海外留学はありませんでしたが、再開された暁には有効に使われる予定です。

プレゼント

昨年度(2020年度)は、寄付を頂いた方に「ぶんぼー野帳(スケッチブック)」をプレゼントしましたが、今年度(2021年度)は

「ぶんぼーマスクケース」をプレゼントいたします。

同封の振替用紙で郵便局にて寄付ができます。(3,000円～、手数料はかかりません)



ぶんぼーマスクケース

目次



愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

法文学部同窓会報
第25号

第16回法文学部同窓会総会について	2
寄付のお願い	2
LINEアカウント	3
支部だより/俳句募集	3
卒業式/入学式	4
青い地球交流記	5
研究室紹介(社会科学・石坂先生)	6
(人文学・石黒先生)	7
社会共創学部同窓会発足	8
法文学部50年誌売上寄付/校友会	8
俳句の作り方講座	9
退職された教員の方々	10
人事異動/Q&A/書籍紹介	11
土居・西田元会長訃報	11
卒業生から	12
理事会報告	15

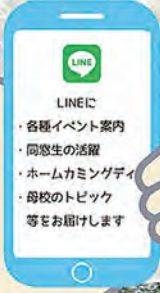
愛大今昔 Vol.1	16
提供講座『社会と人間』報告	20
講師の方に感想をお聞きました!	21
寄付者御芳名一覧	22
寄付者からの応援メッセージ	23
バスタオル寄付	23
愛媛大学埋蔵文化財調査室・ 愛媛大学考古学研究室同窓会	24
『ブラタモリ』はすごい	26
サークル紹介「ハイキング部」	29
Career Report	30
パズル/感想/編集後記	32

題字：柴田 祐昭

(文理学部人文学科史学専攻・第8回卒)

[明楽寺住職・愛媛県美術会常任評議員・
県展審査員・毎日書道展審査員]

LINEで法文学部同窓会と友だちになり、景品応募でGET!



LINEに
・各種イベント案内
・同窓生の活躍
・ホームカミングデー
・母校のトピック
等をお届けします

法文学部同窓会からひとつハネた！お知らせをお届けします

LINEアプリを起動。「友だち追加」画面の「QRコード」を選択、右側のQRコードを読み取っていただき、友だち登録。ご登録いただくと、LINEメッセージが届きます。LINEメッセージが届くと、景品応募のメニューがあります。そこから応募ください。（11月末締切り）



愛大グッズ 総数48名



同窓会オリジナルぶんほーグッズ 総数100名



応募いただいた方には、抽選で「愛大グッズorぶんほーグッズ」をプレゼントします。
当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。
※年内に発送予定です。

支部だより

コロナ禍で昨年度は、各支部とも総会・幹事会や年中行事が開催できませんでした。今年度も開催の予定がありません。例年はP30～31に「支部だより」としてご紹介していますが、今年度は各支部の連絡先のみ掲載させていただきます。支部のある地域にお住まいの同窓生で支部総会などに参加を希望される方は、下記にご連絡ください。

▶ 関東支部【東京章光会】

会長 阿部 仁（法76）
電 話：090-4074-5793
E-mail：abe873@sweet.ocn.ne.jp
副会長兼事務局長 荒木雅弘（法76）
電 話：090-2457-7552
E-mail：masahiro.araki@nifty.com

▶ 関西支部【関西にきたつ会】

会長 岡本正明（法67）
電 話：0742-34-0190
E-mail：bookhill@nifty.com

▶ 広島支部

事務局長 品川 瑞（法93）
電 話：082-208-5886
（あさがお司法書士事務所内）

▶ 四国支部

副支部長（企画担当）玉井周平（経78）
電 話：090-8973-7650
E-mail：tousui78@yahoo.co.jp
事務局（案内等担当）鳥生勉歳（文89）
電 話：090-4506-1684
E-mail：toriu71@gmail.com

俳句コーナーを新設します！

同窓生の皆さまから俳句を募集します。講師と選者は、夏井いつきさんのご長男で「俳句集団いつき組」の家藤正人さん！ 実は法文学部の卒業生です。
応募方法は下記です。

兼 題：「文」（文 という字が入っていればOK）
季 語：自由
投 句 数：1人5句まで
投 句 方 法：同窓会ホームページから投句
<http://ehime-u-houbun-dousoukai.com>

締 切：2021年11月30日（火）
発 表：第26号同窓会報にて（2022年9月発行予定）
※HP上では3月末に発表予定です。
選 者：家藤正人先生
※優秀作品には賞品を差し上げます。

※9ページに家藤正人先生（2010年人文卒）の「俳句の作り方」があります。ぜひ参考にしてください。



2020 (令和2)年度 卒業式

2021.3.24(水)

[学位記授与式]

10:00～

南加記念ホール



各学部・大学院の卒業生代表に大橋裕一学長から学位記が授与されました。



法文学部代表
人文社会学科 森久由紀子さん

令和2年度 卒業生数

◆総合政策学科

昼間主 11名 夜間主 4名 (計15名)

◆人文学科

昼間主 4名 夜間主 3名 (計7名)

◆人文社会学科

昼間主 283名 夜間主 93名 (計376名)

◆研究科

総合法政策専攻 9名 人文学専攻 7名



南加記念ホールに設置されたパネルの前で

[三木奨学賞授与式]

11:00～

法文学部本館2階
中会議室



左から
吉田学部長、森久由紀子さん(学位記授与代表者)、藤原裕也さん(三木奨学賞受賞者)、松本同窓会副会長



松本同窓会副会長から記念品の「愛され媛」を授与される森久由紀子さん

2021 (令和3)年度 入学式

2021.4.6(火)

10:00～

南加記念ホール



参加者を各学部・各研究科代表学生に限定し、「学部入学式」と「大学院入学式」が合同で執り行われ、入学生総代が仁科弘重学長の前で決意を述べました。



「青い地球交流記」(ダイジェスト版)

コロナ禍で渡航ができないなか、世界各国で活躍する卒業生、修了生、交換留学生、協定校の先生方からもメッセージが届きました。そのなかからひとつのメッセージをご紹介します。(「青い地球交流記」編集長より)



あなたを僕は応援します

Yang Hyek Jin (2018年愛媛大学法文学部卒業)

初めまして、皆さん、僕は韓国出身のヤンヒョクジンと申します。コロナで大変な中、元気にお過ごしでしょうか？何よりも健康が大事ですから、くれぐれも気を付けてください。

僕は2014年に愛媛大学に入学し、2018年に卒業した学部生でした。留学中、そして今韓国にいても同じことをよく聞かれます。“どうして日本に留学したの？”と。僕は高校生までは全然留学のことなど考えたこともなかったし、漫画やアニメが好きだけの学生でした。ある事件から急に日

本語を勉強し始め、留学の準備、検定料や入学費などのためにバイトをしたり、その結果、愛媛大学に入学することができました。

もちろんただ一つの理由だけで留学を決めたわけではありませんが、大きいきっかけとなったのは自分の中で‘確かめたい’という気持ちがあったことです。周りからの評判を聞くだけではなく直接経験したことを優先したいという僕の性格もあると思います。当時確かめたかったのは、韓日、日韓関係(政治的ではないところの)のことでした。

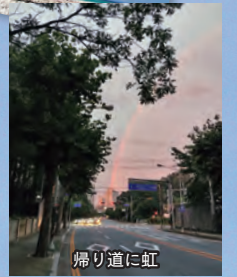
期待、興奮、少し怖い思いなどを抱いて留学した僕は、とても素敵な経験をしたと言えます。4年間に渡って沢山の人の出会い、恵まれ、そして、たまには傷つくこともあり…そのような過程を経て自分だけの“韓日、日韓関係”を確立させることができました。誰がなんと言おうとこれは僕だけの経験であり、侵入不可領域です(笑)。この経験は僕が卒業した後軍隊に入った時も、そして、コロナで全世界が大変な今も自分の中で眩しく、一番力になる柱として存在しています。思い出だけでも幸せだし、たまにそこで知り合った友達と連絡するだけでも元気になったりします。

皆さんは留学することに、海外に行くことに興味がありますか？興味があるなら今は準備する時期ですね。今思えば、留学前にしておけば良かったと感じることが本当に、本当にたくさんあります。先生や先輩、または僕(笑)を通して準備してください。そうすればきっと後の達成感が倍になるはずですよ。

顔も名前も知らない僕の読者さん。新しい大学生活、海外に行く計画、もしくは日常生活を営むことさえ今はできないことが多くて落ち込んでいるかもしれませんが、あなたを僕は応援します。僕が留学先でそうしてもらったように。心が折れることがあるかもしれないし、計画したことが上手くいかないかもしれませんが、でも、僕もなんだかんだ言いながら、無事に除隊を迎えました(笑)。大丈夫ですよ。

何もかも叶うとは言いません。叶わないから価値のあることもありますよね。だから、今はただ応援します。これからのために！

힘내세요! (元気出して、頑張りましょう！)



帰り道に虹



朝、家の近くで



家の猫ちゃん

コロナ禍で海外渡航ができないなか、自粛期間を利用して「自宅での外国語の勉強、こんなふうになっています！」というミニエッセイも寄せられました。(「青い地球交流記」編集長より)

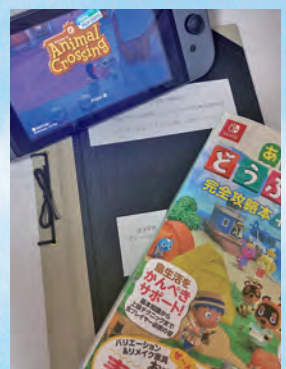
ことばの旅～楽しい旅は終わらない

猪口莉於奈 (法文学部4回生=執筆当時 2021年法文学部卒業)

コロナ禍でゼミのみんなや先生、授業を対面で受けることができないという寂しさはありましたが、自粛期間は私にとって、新しいことに挑戦し、さらに磨き良い機会となりました。これから私が自粛期間に行った語学学習についてお話ししたいと思います。少しでも皆さんの参考になれば嬉しいです。私は現在、英語、中国語、フランス語の3言語を勉強中です。まず、英語についてお話しすると、NetflixとPodcast、ラジオ英会話、YouTubeを教材として使い、家事をやっているときやご飯を食べている時、お風呂にはいっている時も聞いていました。英語でスケジュール



や日記を書いてみたり、ひとりごとを英語で言ってみたり、YouTubeでのシャドーイングの練習も毎日やりました。コロナで新しく始めて面白かったのは、日本人と一緒に英語を勉強している友達とオールイングリッシュで電話をすることです。普段、大学では日本人同士で英語で話すのはなんだか周りの目が気になって話せないもので、完全に2人きりでできる電話は、コロナならではの発見でした。友達とダバる時間も英語を使うだけで英語の勉強に早変わりして、そのお徳感が楽しかったです。また、大学での任意の英会話クラス“English hour”にオンラインで週2回参加し、マレーシアとフィリピンの留学生の方と楽しく会話して、勉強へのモチベーションアップにつながりました。結果として、TOEICの点数もあがり、総合的に語学力を上げることができたと思います。次第に何をやるにしても英語でやりたくって、ゲームも英語に切り替えました。すると、日本語のオリジナル版と英語版とのゲームの雰囲気の違いに気づき、それをきっかけに卒業研究のテーマにまで発展しました。中国語、フランス語も自分で完結できるものは英語とほぼ同様にやりました。加えて、中国語の授業で積極的に質問するようになり、フランス語はほぼ初心者からのスタートだったので、まず文法書を読み、フランス語の先生にお願いしてフランス語のコミュニケーションの授業も受けさせてもらいました。すでに1年間勉強してきた人たちと一緒に受けるので、ついていくのに必死でしたが、フランス語ゼミの友達に助けてもらいながらなんとか最後まで授業を取り終えることが出来ました。大変ではありましたが、フランス語は音が綺麗なので、意味がわからなくても聞いているだけで心地よく楽しかったです。まだまだ、どの言語も伸ばしていきたいところばかりで、語学学習は果てしないなとつくづく思いますが、ことばを学べば学ぶほど、どんどん楽しく大好きになるので、楽しい旅が終わらないことを嬉しくも思います。これからも楽しみつづけていきたいです。好者能精！(好きこそものの上手なれ) If you can dream it, you can do it. ことばの旅にみなさんも出かけませんか？Bon voyage! (良い旅を！)



日・英語版のゲームのことばが卒業論文のテーマになりました

研究室紹介

社会科学講座

石坂晋哉准教授

アジア地域研究

Q：先生の研究について教えてください。アジア地域研究ということですが、特に惹かれる地域（国）はどこですか。どんなところに惹かれますか？

ガンディーの思想と実践に惹かれ、インドの研究をしています。ガンディーは、非暴力の社会運動によってインドをイギリスから独立させた人です。その非暴力の社会運動の伝統は、現在のインドでも、特に環境運動の領域で生かされています。その研究のため、これまで20年近く、主にヒマラヤ山麓のウッタラーカンド州で現地調査を行ってきました。



インド・カルナータカ州フルゴル村にてエコツーリズムの案内をしてくださったご家族と（右端が石坂）



インド・ジャイプルの「風の宮殿」

インド・タージマハルにて

（右端が石坂）

愛媛大学着任（2015年）後は、第二次大戦中に日本とインドが戦ったインパール作戦が現地ではどのように記憶されてきたかというテーマにも取り組んでいます。さらに、愛媛大学リサーチユニット「グローバル地域研究（GLOCAS）」では、愛媛で生まれた「自然農法」がいかにしてインドなど世界各地に波及したのか研究しています。

Q：おそらく何度もフィールドワークに行かれていますと思いますが、印象に残った経験はなんですか？

インド研究者は普通、インドに学生を引率したりはしません。インドに行けば想定外の出来事が必ず起こり、心身消耗することをよく知っているからです。しかし愛大の法文学部では、7年前に退職された戸澤健次先生が開拓されたインド・フィールドワークの授業があったので、それを受け継ぐ形で、私はこれまで数回インド引率を実施しました。

インドに行くくと学生たちは例外なく「インドに来なければ絶対にわからなかったこと」や「想像をはるかに超えるやばい現象」に遭遇します。それは、激しい腹痛といった体調不良の場合もありますが、運がよければ、生涯忘れることのできないような本当の出会いに恵まれることがあります。教員が「あっ、今、この学生さんは、本当に学んでいるな」と実感できる瞬間というのは、日本にいる間は滅多にありま

シリーズ第9回となる今回は、前号でインタビューした先生から「友達の輪」式のご紹介を受け、寄稿していただきました。

せんが、インド引率中は、それが毎日ひっきりなしに続きます。そこが、おもしろいところでもあり、しんどいところでもあります。インド・フィールドワークは学生も教員も、体力勝負です。



インド・ベンガルールのレストランで学生たちと夕食（手前左が石坂）

Q：コロナ禍が収束したらアジアへ旅行に行く計画をしている人もたくさんいると思います。旅行中にどういうことに注目すればいっそう現地への理解が深まるか、何かアドバイスをいただければ。

「アジアに学ぶ」という姿勢でアジア各地を訪れると、自分の人生を豊かにするヒントや、また、より広く地域社会や国や世界のあり方を別の角度から見直すきっかけを、得ることができると思います。アジアは、まことに広く、多様です。シンガポールやドバイのような大都会にも、牛たちがのんびりと寝そべるインドの田舎にも、それぞれ強烈な魅力があります。

これまで私が多く訪れたのは南アジアや東南アジアの熱帯地域ですが、地球規模の気候変動により、日本は徐々に熱帯に近づいてきているように感じます。雨季（つまり梅雨から台風シーズンの終わりまで）のスコール（ゲリラ豪雨）をどうやってやり過ごせばよいのか、また集中豪雨災害の悲惨な状況からどうやって立ち直ることができるのか、短い旅行の間に現地の人たちの様子を観察するだけでも、さまざまなことを学び取ることができるように思います。

でも基本は、とにかくアジア各地の美味しいもの、素晴らしい景色、そして前向きな人たちからパワーをもらい、そこに行かなければ決して味わうことのできない「空気感」を体験することでしょう。なお事前にガイドブック等で治安情報を忘れずチェックしてください。

Q：お休みの日はどんなふうに過ごされていますか。趣味や特技などあれば。

春と秋の週末は、歩きお遍路をしています。7年前、愛媛に住むことになり、それならお遍路を歩こうと決めました。それから車の免許も初めて急いで取得しましたが、それは、区切り打ちをしやすいうようにと思ってのことです。歩きながらいろいろ考えたり、何も考えずにひたすら歩いたり、いまや「ノー遍路、ノーライフ」となりました。ただし、賀沢遍路で、7年経ってもまだ結願できていないスローペースなので、お恥ずかしいですが。

Q：今まで印象に残った学生はいますか？

インド研究者を志して京大の大学院に進んだ人や、民間企業就職後も卒論の研究を論文にまとめて学術雑誌に投稿することを目指している人がいます。あと、卒業後に会いに来てくれる学生は、本当にうれしいです。

Q：卒業生へのメッセージやその他なんでも結構です。

愛媛に来る前に私は、神奈川、青森、京都に住んだことがあります。インドをはじめアジア各地までの「所要時間が最短」なのは、松山です（国際空港が市内にある）。この「強み」を強調しておきたいと思います。



第35番札所・清瀧寺（高知県土佐市）にて

人文学講座

石黒聡士准教授

地理学

Q：研究内容は？

専門は地理学の一分野である自然地理学です。特に、活断層がつくる地形、変動地形の研究に従事しています。実は活断層は地形をよく観察することで発見・認定されます。地形の観察方法は現地踏査なども行われますが、地図作成用に飛行機から撮影された航空



写真を使ったり、近年ではドローンを使用して地形の立体モデルを作成することにより、より詳細な解析が可能となっています。私は地形観察や地形計測に、これらの新たな技術を導入することに挑戦しています。

地理学の学問としては、文化や経済、歴史などの人文現象を扱う人文地理学と、地形や気候、水文現象などの自然環境を扱う自然地理学とに分かれています。しかし、例えば近年多発する自然災害は、災害の引き金となる地震や大雨といった自然現象と、そこに住む人々や集落の分布、インフラの状態などの人文的事象とが重なることで発生します。つまり災害に向き合うためには、地理学全体の力を結集する必要があります。



熊本地震時のドローンによる地形調査

Q：ゼミの様子は？

地理学のゼミは自然地理学・人文地理学が合同で実施しています。ありがたいことに近年は地理学ゼミを希望する学生の皆さんが多くなってきています。2020年度は全体で30名を超える大所帯でした。個性あふれる学生とともに、賑やかに演習などを行なっています。

地理学の醍醐味は、自分の興味関心に応じて実施するフィールドワークにあります。昨今のCOVID-19の影響でそのフィールドワークが実施しづらい状況が続いています。フィールドワークは調査研究手法の習得のみならず、地域

社会に入ること、コミュニケーションスキルをはじめとする多くのことを学ぶことができる大変貴重な機会です。例年は3泊程度の合宿形式で実施していましたが、2020年度は大学近郊を調査対象地域として、行動人数を少人数にするなどして、どうにか実施に漕ぎつけました。それでも学生は真摯に取り組み、立派な報告書を作成するとともに、愛媛地理学会（2021年2月、オンライン開催）においてポスター発表を行いました。

授業以外でも、他大学の研究者とともに共同研究のお手伝いをすることもあります。2017年～2018年の瓶ヶ森山頂付近における地形・景観に関する調査では、学生も複数回参加しました。教室内では得られない種類の強い刺激を受けることができるため大変好評で、以来、研究期間終了後も有志により現地における勉強会を複数回実施してきました。残念ながら2020年度は実施が叶いませんでしたが、状況が改善次第、再開の予定です。



瓶ヶ森山頂から雲海を望む

Q：愛媛大学の印象は？

着任した当時（2017年）の愛媛大学の印象は、「ここは沖縄かな？」というものでした。構内に多数のシュロの木が植栽されていたからです。岐阜県美濃地方出身の私にとって、シュロは毎年の台風中継で、暴風に翻弄される姿をテレビで目にする存在で、同時に沖縄の象徴でもありました。私は岐阜県、愛知県、茨城県に居住した経験があるのですが、それらとは明らかに気候が異なる場所にきたのだと実感しました。また、どこことなく時間がゆっくり穏やかに流れているようにも感じた一方で、中心市街地に近く、路面電車もあり、ほぼ正面には巨大な赤十字マークが施されたタイル張りの病棟が聳え立つという、さまざまな事・物・人が“凝縮された”場所にあると感じました。今、私の研究室からは松山城天守がよく見えます。時折、ロープウェイの発車ベルが遠くに聞こえます。本当に良いところに来たと実感します。

Q：卒業生にメッセージを

みなさんご存知の通り、2020年度は大変な年になりました。そのような中でも教育や調査研究の質の低下が起らないよう、学生、教員とも必死で対応してきています。全てがうまくいっているわけではありませんが、皆工夫してなんとか乗り越えようとしています。卒業生の皆さんの多くは、苦労しながらも、当たり前のように授業を受けて、勉学に励み、卒業されたことと思います。実はそれが大変な幸運であったことを、どうか忘れないでください。再び「当たり前のように」授業ができる日がくることを切望しています。

社会共創学部同窓会 発足

新しい同窓会が産声を上げました!

2016年4月に愛媛大学7つ目の学部としてスタートした「社会共創学部」。2020年3月に初の卒業生を送り出すと同時に同窓会が発足。コロナ禍で活動が制限されていますが、法文学部同窓会としても若い同窓会を応援していきたいと思っています。

名 称	愛媛大学社会共創学部同窓会
発足年月日	令和2年3月24日
会 員 数	352名 (2020年3月卒1期生、2021年3月卒2期生)
会 長	宮崎 渥 (勤務先: 愛媛大学生生活協同組合)
役員構成	会長、副会長2名、理事2名、監事2名、事務局長2名
活動内容	社会共創学部と密接に連携し、その発展に資するとともに、 会員相互の連携・協力及び親睦を図る。
連絡先(事務局)	社会共創学部事務課 (※当面 089-927-8927)



「法文学部50周年記念誌」販売の売り上げ

165,000円を法文学部へ寄付

愛媛大学法文学部は、2018年11月11日に創立50周年記念式典及び祝賀会をANAクラウンプラザホテルで開催し、出席者に記念品とともに「愛媛大学法文学部創立50周年記念誌」を限定配付しました。

その後、式典に出席できなかった同窓会員から、事務局に記念誌についての問い合わせが続いたことから、学部の許可を得て増刷の検討を行いました。高価格となるため学部で余部となっている記念誌を同窓会にご恵贈いただき、同窓会員に販売した金額を学部に寄付することといたしました。

販売を開始したところ、県立図書館など県内の図書館から記念誌の寄贈の要望が寄せられたことから図書館に贈呈するとともに、残り55冊を1冊3,000円で販売した165,000円を2020年12月17日に学部に寄付いたしました。



西田和真会長(左)が吉田正広法学部長に寄付
目録を贈呈

愛媛大学校友会をご存じですか?

愛媛大学校友会はすべての学部の垣根を越えて組織された団体で、同窓生をはじめ、学生及びその保護者、現職及び退職の教職員を会員として、2004年に設立されました。

校友会は、①学生サークルへの援助 ②就職活動の支援 ③留学渡航費の支援 ④学生図書への寄贈 ⑤入学生・卒業生への記念品贈呈 ⑥子規俳句カレンダーの作成 ⑦新社会人の歓迎会など、主に学生支援事業を行っています。

また、同窓生が主体となって組織された首都圏支部・近畿支部・中国支部では、講演会や懇親会を開催し、皆さんの参加をお待ちしています。

同窓生の皆さんは既に校友会会員ですが、会員情報のご登録がないと大学の近況や校友会報の送付、校友会イベントのご案内が出来ません。是非、下記によりご登録いただき、校友会活動にご参加くださいますようお願いいたします。

〈愛媛大学校友会事務局〉 <http://koyu.ehime-u.jp/>
〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2F
TEL:089-927-8610 E-mail:office@koyu.ehime-u.jp



愛媛大学校友会

俳句の作り方講座

家藤正人

ほとんどの皆様、はじめまして。俳句集団いつき組の家藤正人と申します。

かつては僕も愛媛大学法文学部夜間主に通っておいしたので、ひょっとしたらはじめましてではない方もいらっしゃるかもしれません。愛媛大学法文学部同窓会の会報誌に俳句コーナーができ、選者として関われることを大変光栄に思います。

近年、テレビ番組「プレバト!」の影響もあり、「自分でも俳句をやってみようかな」と思って下さる方が増えているようです。最近は夏井いつきさん（実母です）の「悪態俳句」に関するインタビュー記事なども話題を呼びました。なんでもない日々の生活や、憤懣やるかたない子育てや会社でのアレコレ。身近なもののからぼろっとお宝が転がり出てくるのが俳句という遊びの面白さです。みなさんもこの楽しい遊びをご一緒してみませんか、というのが本日のお誘いなのであります。

「でもどうやったらいいかわからないし……」
という方も安心！ 初心者におすすめな「尻から俳句」と呼ばれる方法をご紹介します。

▶「尻から俳句」手順その1 五音の名詞をみつける

身近にはいろんな「モノ」が溢れています。道具や場所、生き物。いろんなものに名前があります。尻から俳句の手順その1は、それらの名前から五音のものを見つけてくること。

たとえば、朝起きた瞬間から行動をシミュレートしてみましょう。その行動の中に五音の名詞が登場するはず。まず顔を洗いに「洗面所」にいきます。パンを焼く人は「トースター」を使うかもしれない。「新聞紙」を読むかもしれない。他にもたくさん。それらの中から一つを選び取ります。

ここは試しに「洗面所」で考えてみましょう。「尻から俳句」は五七五のうちのお尻の五から作っていきます。まずできたのはこんなパーツ。

「○○○○○●●●●●●●洗面所」

▶「尻から俳句」手順その2 下五の言葉について中七で描写する

次に考えるのは●の部分。真ん中の七音を使って、下五の言葉について描写してみます。描写というと難しく聞こえますが、あまり深く考えなくて大丈夫です。思いついた言葉でOK。

ただし、ひとつだけポイントがあります。それは「季語っぽい言葉の中七にいれない」こと。尻から俳句では季語は上五にしかおけないルールになっています。

季語を含まない中七での描写の一例です。こんな経験をした方は一定数いらっしゃるのではないかと。

「○○○○○砂で汚れた洗面所」

子育て世代まっただ中の自画像であります。なぜこうも靴を汚して帰ってくるのか……。

▼「尻から俳句」手順その3 上五に季語をいれる

手順その2まで進めば、五七五のうちの「七五」が完成しました。合計十二音。私達はこの季語以外の十二音のことを「俳句のタネ」と呼んでいます。あとは上五に季語をいれれば一句のできあがりです。

最後の季語選びのコツは「気分にあった季語を選ぶ」と。

できあがった俳句のタネが明るかったり前向きだったら、明るそうな季語を。逆に、俳句のタネがどんよりしてたり悲しそうだったら、それっぽい季語を選んでくっつけるのです。たとえば

「梅雨湿り砂で汚れた洗面所」

こんな季語をくっつけてみた場合。続く雨。ざらつく洗い場。どんよりと憂鬱な掃除。……思い出だけでうんざりしてきますね！

では、こんな季語をくっつけてみたらどうでしょう。

「夏の空砂で汚れた洗面所」

夏の空は澆刺と明るいイメージ。洗面所に差込む陽射しも明るく強そうです。さあ綺麗にするぞ！ と前向きに立ち向かえそうな気がします。

同じ俳句のタネでも、どんな季語を合わせるかによって、明るくも暗くも味わいががらりと変わってくるのが俳句の面白いところです。

あくまでここでくっつけた季語はほんの一例です。自分のつくった俳句のタネにどんな季語が一番似合うか？ 歳時記をめくってみるのも楽しい時間になりますよ。



ムズカシイと思われがちな俳句ですが、実はこの尻から俳句のように、「型」と呼ばれる作り方がいくつもあるのです。「公式」と言い換えても良いでしょう。型を覚えれば簡単に最初の一步が踏み出せます。

一步が踏み出せると、歩くのが楽しくなる。歩けるようになると、走りたくなる。走れるようになると、どこまで行けるか試してみたいくなる。

俳句という新たな趣味へ、まずは最初の一步をご一緒できれば幸いです。



（選者プロフィール）

家藤正人（いえふじ・まさと）

愛媛県出身。愛媛大学卒業後、本格的に俳句に携わる。夏井いつきの句会ライブにてアシスタント経験をつむ。

- ①愛媛新聞カルチャー教室「働く人と学生のための俳句」講師、他派遣多数
- ②大阪府/帝塚山学院大学非常勤講師（前期2年務）
- ③松山市公式俳句投稿サイト「俳句ポスト365」初心者欄選者

- ④南海放送ラジオ「夏井いつきの一句一遊」アシスタント
- ⑤香川県宇多津町「令和相聞歌」（旧：平成相聞歌）企画参加および選者
- ⑥2019年8月～南海放送ラジオ「家藤正人『一句一遊』虎の巻」パーソナリティ
- ⑦修学旅行生、全国の小・中・高生対象句会ライブ講師
- ⑧国際交流基金インドニューデリー日本文化センター「南アジアオンライン俳句コンテスト」選者

退職された教員の方々

- ① 愛媛大学に来られた年
- ② 所属の学部学科
- ③ 研究・専門について



竹川郁雄先生

- ① 1990年(平成2年)10月
- ② 法文学部人文学講座
- ③ 社会学・社会病理学・社会意識論

出生地 大阪市

最終学歴 大阪市立大学大学院文学研究科
後期博士課程単位修得退学

学位・称号 文学博士

所属学会 日本社会学会、日本教育社会学会、
日本社会病理学会

1990年10月に愛媛大学に赴任していますから、30年と半年在職したことになります。その間多くの学生さんと出会い、さまざまな学びを経験してきました。

在職中の前半では、いじめを中心とした青少年問題に取り組み、子どもを取り巻く大人の意識や態度を郵送調査を通じて明らかにしようとして、学生さんとともに松山市や大洲市の選挙管理委員会に行って、有権者名簿よりサンプリング作業を行ったりしました。

2005年より現代の四国遍路について研究することとなり、四国遍路をする人に対してアンケートを実施し、どのような人たちがどのような目的で四国遍路をしているのか探ろうとしました。第50番札所繁多寺で巡拝に来る人たちに2006年から8回にわたって質問紙調査を実施し、のべ6,522人より回答を得ました。調査からは、自分たちのスタイルに合わせて自由な形で遍路する人たちがいるとともに、伝統的な四国遍路の様式を守って何度も巡拝する人たちの様子が浮かび上がりました。

また現代の四国遍路を探る別の方法として、四国遍路をした人によって書かれた四国遍路巡拝記を収集し、そこに記述された巡拝経過や人との交流から、現代の四国遍路の特徴を探ろうとしました。四国遍路巡拝記では遍路の道中事情が率直に書かれています。特に、地元の人がお遍路さんをねぎらうお接待は、お大師信仰を背景に何の見返りもなく行われ、歩き遍路の人たちを仰天させます。現代の四国遍路を研究するからには自分も遍路をした方がよかろうと考え、私も歩き遍路を始め、遍路途中何度もお接待に遭遇し、四国の人たちの懐の広さに感激しました。四国遍路は、お接待の慣習を含めて今なお四国に息づく素晴らしい地域文化です。今後も、四国遍路・世界の巡礼センターを中心として、その歴史や遺産を学術的に意義あるものにしていくことを願っています。



弓削俊洋先生

- ① 1987(昭和62)年4月
- ② 法文学部人文学講座
- ③ 現代中国文化
(文学・芸能・教育)

出生地 福岡県

最終学歴 立命館大学大学院文学研究科修士課程修了

学位・称号 文学修士

所属学会 中国文芸研究会ほか



兼平裕子先生

- ① 2007(平成19)年4月
- ② 法文学部社会科学講座
- ③ 税法・行政法

出生地 愛媛県八幡浜市

最終学歴 神戸大学法学研究科博士課程後期修了
学位・称号 博士(法学)

所属学会 日本公法学会、日本税法学会、
租税訴訟学会、環境法政策学会

愛媛県八幡浜市出身の私にとりまして、松山は大会でした。2007年、その大都会・松山市にある愛媛大学に採用していただいたことは感謝の限りです。愛媛に住むのは24年ぶりでしたので、伊予鉄のオレンジ色を見るたびに「愛媛の色」と感激しておりました。

大学卒業時の私に、その40数年後に大学教員としてキャリアを終える姿をみせたら、卒倒していることでしょう。夢にも思わなかった職業でした。

30代のある日、新聞の夕刊をみて思いつきで税理士の勉強を始めました。その延長線上で、47歳で学位をとりました。その後、税理士から大学教員に転職しましたが、教職免許も取得していた私にとりまして、大学において研究する時間や若い学生さんと接する機会を与えていただいたことは、感謝に堪えません。

14年の間に、駄文の羅列とはいえ、40本以上の論文をかき、5冊の単著を出版することができました。そして、自分の子供達より若い学生さんと接することができる授業・ゼミ・FW活動に費やす時間は至福の時間でした。

ももとの専門は税法なのですが、環境税やエネルギー問題・廃棄物問題に興味をもっていたこともあり、環境法や行政法など、広く浅く勉強をしてきましたので、エセ研究者かもしれません。しかし1995年以来、「出しすぎ、取りすぎ」がもたらした地球温暖化問題が興味の中心でした。カーボンニュートラルは20年前から私個人も主張していた点ですが(博士論文のテーマでした)、「川の対岸から石を投げ」、ポチャッと落ちただけの影響でした。

退職後は、これまでの口先だけの理屈の日々から、再生可能エネルギー普及のための地道な活動の日々に変えたいと思っています。学生をつれて海外FWも多く行きましたので、添乗員の仕事も得意になりました。ゼミのOBらでこれからも海外に行く機会もありそうです。目指すは「元気な年寄り」です。これからも「爾今生涯」を motto に元気に過ごしたいと思っています。

法文学部教員人事異動

(2020.4.2～2021.4.1)

講座名	氏名	職名	異動年月日
▶社会科学講座	松本圭史	講師(採用)	2020.10.1
	石川素子	講師(採用)	2020.10.1 (2021.2.28退職)
	権奇法	教授(昇任)	2021.4.1
	菅原健志	准教授(昇任)	2021.4.1
▶人文学講座	十河宏行	教授(昇任)	2021.4.1

Q&A

「会報及び同窓会に対するご意見・ご感想」でいただいたご意見について回答いたします。

Q 法文学部という名称がなぜ残ったのか(当初は人間社会学部、全国の流れだと人文社会(科)学部)、その経緯をどうしても知りたいし、説明してほしいですね。同窓生としては。

A 当初は、愛媛大学法文学部においても全国の流れに沿った名称変更での組織改編を進めていましたが、文部科学省担当官との意見交換において学部名称を変更しないという選択肢があることが示唆され、法文学部改編検討ワーキンググループにおいて3学科案から1学科案への変更及び「法文学部」の名称存続が決定され、学長への了解も得た上で文科省との交渉に臨み、結果的に改組計画が認められたものです。

詳細は、「愛媛大学法文学部創立五十周年記念誌」P39～P42の「国立大学改革と法文学部の改組」についての記述をご参照ください。法文学部のHPからご覧になれます。
<https://www.ll.ehime-u.ac.jp/ebook/anniversary5>

Q 愛媛大学を訪れたいが、駐車場が学内に確保されていたら行きやすい。大学の先生も亡くなったり、転出されたりで気軽に行けなくなってしまった。同窓会で学内駐車場を確保できないだろうか。

A 愛媛大学城北キャンパスは敷地が狭く、愛媛大学生の車での入構は原則禁止、教職員もかなりの制約を受けています。申し訳ありませんが近辺の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関でお越しください。ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

Q 南加記念ホールは昔の教育学部にあった記念講堂ですね。なつかしいです。

A 南加記念ホールは、昔の教育学部にあった記念講堂とは別の建物です。持田キャンパスにある記念講堂は、大正11年に旧制松山高等学校講堂として建設され、昭和24年に愛媛大学文理学部講堂となり、さらに昭和38年に教育学部附属中学校講堂となったもので、「章光堂」と呼ばれています。平成25年に耐震改修の記念式典が開催されました。第18号会報(平成26年発行)の表紙写真で紹

介しています。それに対して、南加記念ホールは昭和30年から城北キャンパスの同じ場所にあった記念講堂で、平成22年にホールとして生まれ変わったものです。

Q “From a Graduate”一卒業生2名が載っていましたね。“From Graduates”が正しいのどちらがいますか?ただし、もっとよい英文があると思いますが……。

A ご意見ありがとうございます。法文学部英語学の教授・今泉志奈子先生にお伺いしてみたところ、「お二方からメッセージが寄せられていますので、読者の方のご指摘のとおり、From Graduatesのほうが正確ですね。」とのご回答とともに、よりよい英文についても以下のようなご助言をいただきました。

「まず、いきなりFromからはじめるよりも、Message from...としたほうが自然な感じがします。例年おふたりずつ掲載されているようですので、Messages from...ですね。次に『卒業生』ですが、英文では、Alumni(アルムナイ)というラテン語起源の語を使うことが多いです(Alumniは厳密には複数形ですが、しばしば単数形としても使われています)。ということで、“Messages from Alumni”という英文表記が一番しっくり落ちて感じがします。以下、おまけです(^ ^): AlumniとGraduatesは、ほぼ同じ意味なのですが、Graduatesは「その年度に卒業したばかりの子たち」という意味で使うこともあるので、より広く「同窓生」全般を指す場合は、やはりAlumniのほうがいいと思います。」

Q ゼミでお世話になった山口由等先生やドイツ語のライネルト先生はお元気でしょうか? コロナが落ち着けば、愛大、のぞきに行きたいです。

A お二方ともお元気です。山口由等先生は、2016(平成28)年度に法文学部から社会共創学部へ配置換えとなった後、2020(令和2)年からは流通経済大学経済学部の教授として活躍していらっしゃいます。ライネルト先生は、2020(令和2)年度末で定年退職を迎えられ、引き続き松山にお住まいになるそうです。

書籍紹介



前法文学部長で前同窓会理事の加藤好文名誉教授(放送大学愛媛学習センター長)が、『スタインベックのまなざしー我がアメリカ文学・文化研究の原点ー』(大阪教育図書)を出版されました。

加藤先生のライフワークとも言えるアメリカの作家ジョン・スタインベックの文学に関して書き溜めた文章に、現地で撮った写真などを添えた思いのこもった論文集で、定価は税込4,180円(税別3,800円)です。

お求めは、お近くの書店か出版社(下記)まで。

■大阪教育図書

TEL: 06-6361-5936

H P: <https://www.osaka-kyoiku-tosho.net/>



令和3年2月1日(月)、同窓会第4代会長の土居俊夫さん(1953年文理英卒)が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



令和2年12月19日(土)、同窓会第9代会長の西田博さん(1955年文理経卒)が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

1992年卒業 津田 朋美

【文学科 国語国文学専攻】

いろいろな通学路・通勤路

今までにいろいろな手段で大学や勤め先に行きました。

大学へは50ccの単車で行きました。自宅から大学まで30分ほどだったように思います。2月には帰り道に椿さんの屋台の前を通るので、お参りはせずに屋台だけ利用したこともあります。



入学式当日



国文メンバーでの旅行時（右上から5人目）

初めての勤め先は南予の高校でした。教員宿舎に住まわせてもらいました。なんと家賃は6千円ほどでした。敷金礼金は不要です。ここからは、歩いて通いました。宿舎から学校までの間に信号は一つでした。宿舎の近くに図書館があったので、暇なときにはそこで過ごすことがありました。

一年後には松山市内の高校に行くことになりました。ここは学生時代と同じ単車で行きました。単車で移動する私を見かけた先生に「単車は危ないね。」と心配されたことがあります。ありがたいことに安全に行き帰りました。

次に南予の高校に行きました。半島の先にある学校です。ここでも教員宿舎に住まわせてもらいました。家賃は8千円ほどでした。教員宿舎には本当にお世話になりました。学校はすぐの所でしたが、坂道なので車で行きました。怠惰なことこの上ないありさまで。しかし、車のおかげで出勤時間に間に合いました。

今度は中予の高校に行きました。ここには徒歩で行きました。学校の近くにクリーニング屋さんやスーパーがあったので、便利でした。勤務している間に学校の住所が松山市に変わりました。その時の市の最後の広報には教え子たちも載っています。

次は松山市内の高校に行きました。車で行きました。白水台を通るので、下り坂を慎重に下りて行きました。運転の上手な人にはなんということはないのですが、私にとっては緊張する運転でした。

一年後、その学校の分校に勤務することが決まりました。そこへは車と船で行きました。港近くに駐車場を借りました。転勤するときに解約の連絡を入れるとまた教員を紹介してほしいと言われましたが、自分の後任の人

は知らない人だったので紹介せずに終わりました。ごめんなさい。行きは高速船、帰りはフェリーを利用しました。飲み会の時には、フェリーに間に合わないの高速船で帰りました。また、車で行く途中に高浜の神社近くのパワースポットで有名な石もあります。当時は気付きませんでしたが、この原稿を書くにあたり行ってみました。



白石の鼻巨石群

夕日が落ちるころ海がとてもきれいで、それを船からずっと眺めていたこともあり。幸せな時間でした。花火大会があったときには、船からその様子を見ることができました。陸で見るとはちょっと違った感じで面白かったです。夏休みには、学校を終えて帰る時間がいつもより早いときがあり、そういうときには、バスで別の港に行きそこから船に乗って帰ったこともあり。ちょっとした旅行気分を味わいました。夏休みのある日、生徒の進路指導をしていたら、天候が変わり、急に船が出ないことになりました。そこで、学校近くのビジネスホテルに泊まったこともあり。そのとき進路指導の時間を十分取ることができました。それが原因かどうかは分かりませんが、そのときの生徒の中には良い結果を出した子もいました。その子が「あのとき、船が出なくてよかった。」というようなことを言ってくれました。災い転じて福となす、とはこのようなことでしょうか。この学校にはまた通いたいです。

次は図書館に勤務しました。ここには歩いていきました。早出と遅出勤務がありました。遅出のときには、デパートで買い物してから出勤したこともあり。

今は、特別支援学校に郊外電車で通っています。電車の中で読書などを楽しんでいます。生徒と同じ車両に乗り合わせることもあります。

思い返してみれば、いろいろな方法で通ってきました。次はどんな方法になるのか、楽しみです。



愛媛県立図書館前で

2021年卒業 松本 さゆり

[人文社会学科 法学・政策学履修コース]

コロナ禍での学生生活と就職

2020年はまさにコロナに始まりコロナに終わった一年であった。これまでも多くの大災害や感染症が流行するといった事態は起きてきた。しかし不謹慎な言い方をすると、直接被害を受けたわけでもない私にとってそれらはすべて他人事であった。人間がコントロールできない以上、そうした被害がいつ自分の身に降りかかってもおかしくない、ということは誰しも頭では理解していると思う。だがそうした意識はあっても実際に予防や防災といった行動にまで移せないという人は自分を含め意外と多いのではないだろうか。コロナによって世界中の人が苦しい思いをしている中、「自分に関係ない」といった態度がいかに取り返しのつかない結果をもたらすか身に染みて理解できたことはこのパンデミックの中で唯一の良かった点であるように思う。



道後温泉の前で撮ったゼミの記念写真(右から3人目)

私のコロナ禍での学生生活を端的に表すとすれば「孤独」であった。感染予防のため講義やゼミはオンラインで行われ、途中規制が緩和された時期もあったが、友人たちと遊びに出掛けることも気兼ねなくというわけにはいかなかった。むしろ、絶対に必要な用事でもない限り、そうした私的なことで人と会うことに罪悪感が常に付きまとった。これだけインターネットが普及している今、直接顔を合わせなくても大抵のことは何とかなる。しかし、画面越しに話すのと直接対面して話すのではうまく言葉では説明できないが、それでも決定的に大きな差が存在した。私の大学生活の6割は友人たちとの馬鹿話で構成されていたといっても過言ではない。話すだけなら通話で事足りるのだが、

この一年そういった会話はほとんどなかった。思うに他愛もない会話、意味のないただの思いつきによる発言などというものは場を共有しているからこそできるのであり、通話という労力をかけてまで話すにはためらいがあったのだろう。そうした日常のやり取りは明日になってしまえば内容も忘れてしまうものばかりではある。だがそれらは一日の終わりに「今日も良い日であったな」という実感を残し、密かに心の支えとなっていたのだ。

コロナにより人の流れが大きく制限されたことで、個人はもちろんのこと、多くの企業・団体がダメージを受けていると一年経った今でも耳にする。そんな世の中であるにもかかわらず、去年の今頃、私は全く就活に身の入らない学生であった。自分のやりたいことが見つからず、相次ぐ「倒産」のニュースを聞き、努力しても無駄になるかもしれないといった思いが余計に拍車をかけていたように思う。結果として、私は福岡にあるJAふくおか八女に内定をもらい勤めることとなったが、農協を受けるきっかけとなったのはコロナ禍での生活であった。大学4年生ともなるとあらかじめ卒業単位は取り終え、以前ほど勉学に時間を割く必要もなくなる。授業もなく、就活にも身が入らず、友達とも会いつらいとなると一日の大半を部屋でぼーっと過ごしていることが多かった。コロナや就活などの先の見えない不安を抱えて生活を送っていく中で、偶々^{たま}の買い出しに出たスーパーで以前と変わらない品ぞろえにどこか安心感を覚えたのをいまだに覚えている。日に日に感染者が増え、混乱していく世の中で売り方は変わっても、売っているものは変わらなかったことに感動すら覚えた。そうした顔は見えなくとも皆の「食」を守るため努力してくれている人を支えたいと思ったのが農協で働こうと決心した理由である。

昨年から続くコロナ禍で世界中の人が大変な思いをした。こうした日常を脅かすパンデミックや災害は起こらないならそれが一番良い。しかし一度痛い目を見た以上、ただの苦い体験でおわらせず次につなげていくことが肝心である。コロナ禍が収まった後に、コロナ禍になる前よりも住みよい世の中になるよう微力ながら私も尽力していきたいと思います。



職場での仕事風景

2018年卒業 山本 舜

[人文学部]

「郷愁」というのは、誰にでもある感覚なのか。これがまずそもそも分からないのだが、とにかく大学時代のことを書くのにこれ以上にいい表現が思いつかないので、この言葉を使いたい。

私は小学校から高校までのいわゆる思春期の大半を奈良県で過ごした。けれども奈良が「故郷」だという感覚はほとんどない。多くの人にとって「故郷」が「帰りたい場所」や「帰ってこれる場所」だとするなら、奈良は自分にとってはそういう場所ではなかった。幼少期にいくつか他の土地に移り行ったことがあるからかもしれない。あるいは、中高時代の覆い隠して忘れてしまいたい、消し去りたい記憶のありかをそこに重ねているからかもしれない。実際高校生だった自分はとにかく「ここではないどこか」を求めて、つまり自分のことを何も知らない、自分も何も知らない場所を求めて、愛媛大学に入学した。他者との小競り合いに晒されながら、過去や未来に怯えて、メトロの入り組んだ環境で大学生活を送りたいとは思わなかった。いろんな「つながり」から適度に切り離された世界——コロナ禍でますますこの「つながり」という言葉が都合よく吹聴され、増長されていることを思い浮かべてしまうが——、そういう場所で過ごすことが、自分が当時望んだキャンパス・ライフだった。



野外ロックフェスにて(中央左・ドラム)

高校時代からバンドをやっていたこともあって、好みの合うJOKERSという音楽サークルに入った。そこで多くのかけがえのない仲間と出会い、毎日朝から晩までボックスと呼ばれる共用施設で練習したり、意気投合した面々とオリジナルバンドを組んで関西中四国をツアーで巡ったりした。本当に、ただ自由に生きていた。夜通し飲み明かしたり、温泉で夢を語り合ったり、恋や将来に悩んだり。そのときから、「この時間はやがて思い出になってしまうだろう」という予感があった。当時すでにそんなことを仲間たちと話し合ってもいた。——この時間は、いつか取り戻せないものになってしまう。だから、せめて精一杯、という想いで、私たちは繋がっていたと思う。そしてそれは現に、やはり思い出になってしまった。思い出になってしまったものは、もうどう足掻いても取り戻せない。絶対に取り戻せないからこそ、なんとかして取り戻したいという想いは募るばかりである。しかし、それを取り戻すことは誰にも叶わない。そういう「どうしようもなさ」を、ここでは「郷愁」と呼んでみたい。

もちろん、単純に今が充実していないから過去が恋しいと

いうわけでもないはずだ。自分は高校のときから、生きていく中で人間が直面せざるを得ない多くの「どうしようもなさ」についてきちんと考えてみたいと思って、哲学を学ぶために法文学部に進学した。こうしたおぼつかない関心で突っ走る学びの浅い自分を、哲学・倫理思想史講座の先生方は寛大な心で見守って下さった。研究室で先輩同輩後輩諸氏と夜遅くまで議論したり、たわい無い空談を楽しんだりしながら、実に多くのことを考えたと思う。卒業後は諸々の事情で奈良に戻ることを余儀なくされていたので、今は関西の大学院に進学して研究を続けている。当然学部の際に比べればずっと多くのことを考えることができるようになったし、ここに余裕もできた。だからそれは、単に「昔はよかった」という過去への執着とも違うと思う。今が決して不満なわけではないのに、ただそのとき、それとしてあまりに満たされていたがゆえに、取り戻してみたいと強く思うってしまう感覚——そういう感覚が「郷愁」としてある。松山は自分にとってすっかり「故郷」になってしまった。事あるごとに、松山に帰りたい、松山で、あの頃のように人に会って話がしたいと切に思う。それはきっと、個々の具体的な情景や思い出される人は違っても、どこかで「わかる」と言ってもらえるような、そういう感覚なのではないか。



卒業式に法文学部総代として

適度に個々の具体的な思い出を振り返って、適度に現状を報告すれば、この場としては十分であったかもしれない。だができれば、今なお自分が抱いているこの「どうしようもない郷愁」を、同じように感覚として持っているかもしれない同窓の方々に打ち明けてみたかった。松山は魅力的な街である。愛媛大学は私たちの居場所だった。「今なお私たちの居場所でもあるのだ」と言ってくれる人がいるかもしれないが、少なくともそこを居場所としていたあの時の私たちは、今はもうどこにもいない。そういうことも含めた「どうしようもなさ」が「郷愁」には伴っていると思う。



哲学・倫理思想史講座の方々と(右から二番目)

愛媛大学法文学部同窓会理事会報告

2020年度 第2回(通算第81回)理事会

日 時：2020年10月23日(金) 18:00～

場 所：メールでの資料送付による持ち回り

【報告事項】

1. 新型コロナウイルスの影響と現状
2. 第11回ホームカミングデイについて
11/14 → 中止
3. 第24号同窓会報発行
4. 2020年度法文学部同窓会提供講座「社会と人間」
10/7～2/3 15回 Zoomによる遠隔授業
5. 支部活動・支部長会など報告と予定
支部総会などほとんどが中止
6. 大学関係行事、会長会・校友会理事会 報告と予定
会長会など全て中止
7. 寄付について
8. 同窓会規約の改定について

【審議事項】

1. 来年度(第16回)総会について

2020年度 第3回(通算第82回)理事会

日 時：2021年2月26日(金) 18:00～

場 所：メールでの資料送付による持ち回り

【報告事項】

1. 2020年度同窓会提供講座「社会と人間」終了
2. 2021年度会報編集委員会スタート
3. 支部活動・支部長会など報告と予定
4. 大学関係行事、会長会・校友会理事会 報告と予定
5. 寄付について
1,505,500円(289名、2/3時点)。
「ふるさと応援」 東京44,500円、大阪23,500円、
広島103,500円、四国94,000円
6. 2020年度決算(暫定)について
7. 第16回総会について
11月27日(土)に開催
8. 役員改選について
9. 同窓会運営のIT化について
同窓会公式LINEアカウント開設
10. 法文学部50周年記念誌販売状況
16万5千円(55冊)を西田会長が法文学部へ寄付

【審議事項】

1. 2021年度活動計画 → 承認
 - 1) 新型コロナウイルスの影響が今年度も継続しそうな状況の中、同窓会報の発行・支部支援・提供講座・名簿管理・学生支援・監査などの基幹となる活動については滞ることなく進めていきます。
 - 2) 同窓会報は、同窓会員への大学・学部・同窓会活動の紹介や会員相互の情報交換の場として、9月発行を目指します。同時にホームページの充実を図ります。
 - 3) 人の移動に制約を受けている現状を鑑み、支部活動支援および本部・支部間の交流を図るため、Zoomを使用したWeb会議を促進し、支部総会・支部長会議・事務局長会議などをリモートで開催できるように努めます。また、各支部へのパソコンの配布などIT化を検討します。
 - 4) 2020年度、リモート講義となった同窓会提供講座をさらに充実させるため、対面授業およびリモート授業の両方を前提に、講師選定や運営を進めます。
 - 5) 2020年末に立ち上げたLINEの公式アカウントを活用するなど、新卒業生を始め若い世代を引きつけ、同窓会活動に参加してもらうための取り組みを進めます。
 - 6) 会員からの寄付を活用して、同窓会活動をより活性化し、法文学部学生支援事業を充実させます。
 - 7) 同窓会名簿の精度を高め、支部活動に有効活用します。
 - 8) 日常の活動強化の基本となる、明るく活発で民主的な理事会運営に努めます。
2. 2021年度予算案について → 次回理事会に再提案

2021年度 第1回(通算第83回)理事会

日 時：2021年6月11日(金) 18:00～

場 所：メールでの資料送付による持ち回り

【報告事項】

1. 新型コロナウイルスの影響と現状
2. 第25号会報編集委員会報告
3. 2021年度同窓会提供講座「社会と人間」
10月6日～2月2日 15回 Zoomによる遠隔授業
4. 支部活動・支部長会など報告と予定
5. 大学関係行事、会長会・校友会理事会 報告と予定
6. 同窓会員 会員数報告
2020年9月卒業(修了)生 8
2021年3月卒業(修了)生 406

【内 訳】

	男	女	計
総合政策学科	12	3	15
人文学科	1	6	7
人文社会学科	163	213	376
合 計	176	222	398
研 究 科	6	10	16

【総 計】

文理学部19年(1953年～1971年)	2,222	
法文学部49年(1972年～2020年)	20,832	計23,054
2021年4月入学生	420(402)名	
人文社会(昼)	113	170 283
人文社会(夜)	37	60 97
合 計	150	230 380
3年次編入	22	13 25
研 究 科	3	2 5

7. 総会開催について
8. 理事の交代について
9. LINEアカウントの開設
「ぶんぼーバックプレゼント」「愛され媛」プレゼント企画

【審議事項】

1. 2022年度法文学部同窓会提供講座の開設について → 承認
2. 愛大基金への寄付について → 承認
3. 2020年度決算・監査報告 → 承認
 - 1) 会費収入は、予想を約18万円上回り、768万円でした。寄付金の繰り入れが100万円、利子収入が3万円で、合計871万181円です。
 - 2) 支出に関しては、新型コロナウイルスの影響で例年と大きく異なりました。理事会が3回とも持ち回りで支出なし、支部総会・支部長会議も対面では開かれず交通費等の経費がゼロ、支部の交付金は過去3年間の平均の半額で支出、愛大基金への寄付が半額の50万円など、大幅に支出が減りました。逆にZoom会議などパソコンや通信の充実を図ったため、IT関連の支出が増えました。また例年、卒業式の後の学部祝賀会に30万円を寄付していましたが、今年は祝賀会がなかったため、愛媛大学ブランドの日本酒「愛され媛」を200本購入し、卒業生に配りました(取りに来られる人だけ)。
 - 3) 支出トータルでは、予算に対して約200万円の減少となっています。
 - 4) 寄付金の収支については、収入が約155万円、支出は同窓会活動支援100万円・振込手数料等の雑費約10万円・郵便振替用紙の製作約11万円、ふるさと応援27万5,500円です。ふるさと応援制度への認知度が昨年よりも高まった結果となりました。
 - 5) 5月11日(火)に監査を行いました。
4. 2021年度予算案について(再提案) → 承認
 - 1) 収入は、寄付金からの繰入金100万円を含め約861万円を見込んでいます。支出については、今年度も新型コロナウイルスの影響が継続していますが、例年と同じ活動が出来るという前提で組んでいます。支部活動費は新たに事務局長会議を開催するために増額しています。会報発行経費は会員数の増加に伴って発行・発送部数が増えますので増増です。また総会・懇親会(11/27)の費用40万円を計上しています。
 - 2) 寄付金については、収入は今年度とほぼ同額の150万円を見込んでいます。支出は郵便振替用紙の作成に約10万円(1年分)、ふるさと応援が昨年実績から22万円を見込み、愛大基金への寄付金(同窓会活動支援100万円)、支部支援(IT化)50万円と合わせて、約192万円で予算を組んでいます。
5. 理事構成の「総合政策」枠新設について → 承認
6. 規約の改定について → 承認

愛大今昔 Vol.1

法文学部の歴史、建物配置図を通して

愛媛大学 総合情報メディアセンター 教育支援者 菊川 昭治

(1979年 文学科卒、1980年 法文学専攻科卒)

法文学部の歴史を大学内に残されていた建物配置図等を元に巡ってみたいと思います。

なお、配置図等を元に個人的に妄想したり、想像したりしているものですので、歴史的な考証等とはなっておりませんので、ご了承願います。

また、松山の古い地図については、時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」(<https://ktgis.net/kjmapw/index.html>)を利用させていただいております。

愛媛大学の沿革によると『法文学部』(昭和43=1968年4月～)の前身は愛媛大学設立時の『文理学部』(昭和24=1949年5月～)、更に、その前身は官立旧制高等学校の『松山高等学校』(大正8=1919年4月～)となっています。松山高等学校とその寮である『三光寮』は、早坂暁の「ダウタウンヒーローズ」(山田洋次監督により映画化)の舞台として知られています。

では、古い順に建物配置図を鑑賞することにします。

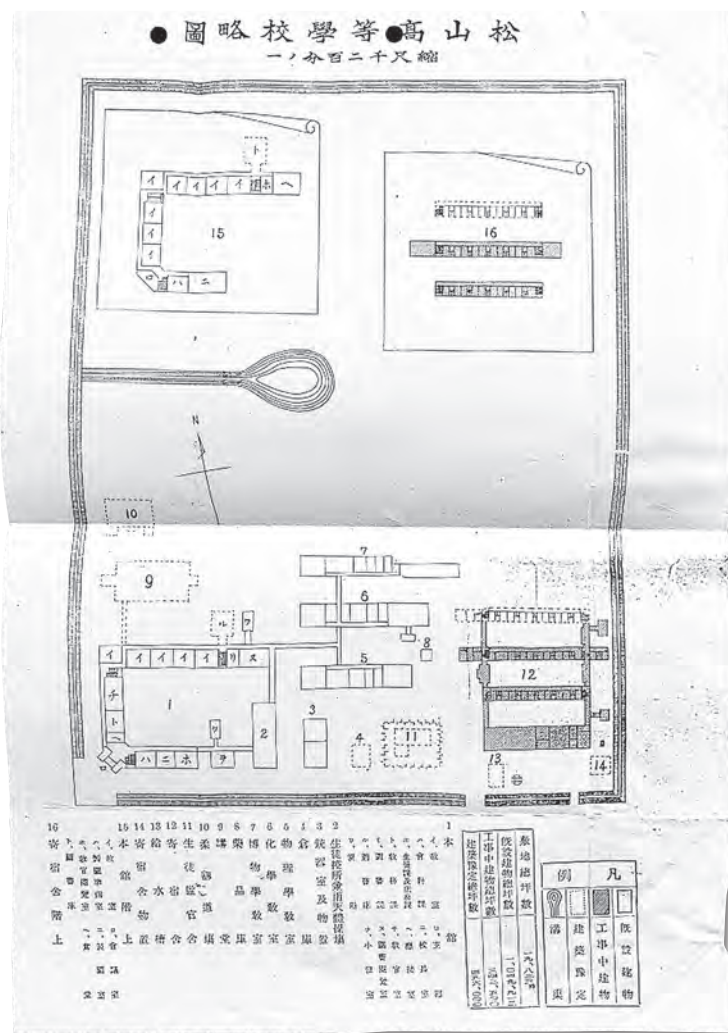
恐らく愛媛大学に現存する最古の松山高等学校略図(建物配置図)が、写真①になります。

大正8(1919)年の設立当初のものと考えられますが、右下の寄宿舍(12)は工事中、講堂(9)は建築予定、後にグラウンド等になる校舎の北側には、溝渠と記された謎の構造物(?)があります。

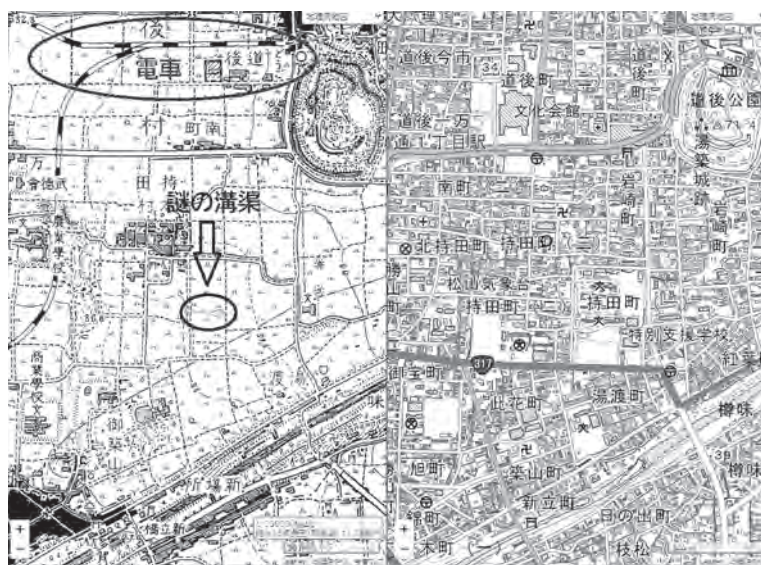
図Aは、少し古い明治36(1903)年のものですが、田んぼの中に謎の溝渠らしいものが見えます。

地図上部(北)には、今と全く違う所に線路が二本あり道後温泉に向かっていました。この件については、とても話が長くなるので、別の機会があれば、妄想してみたいですね。

(この地図は、時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」(©谷 謙二)により作成したものです。)



写真①

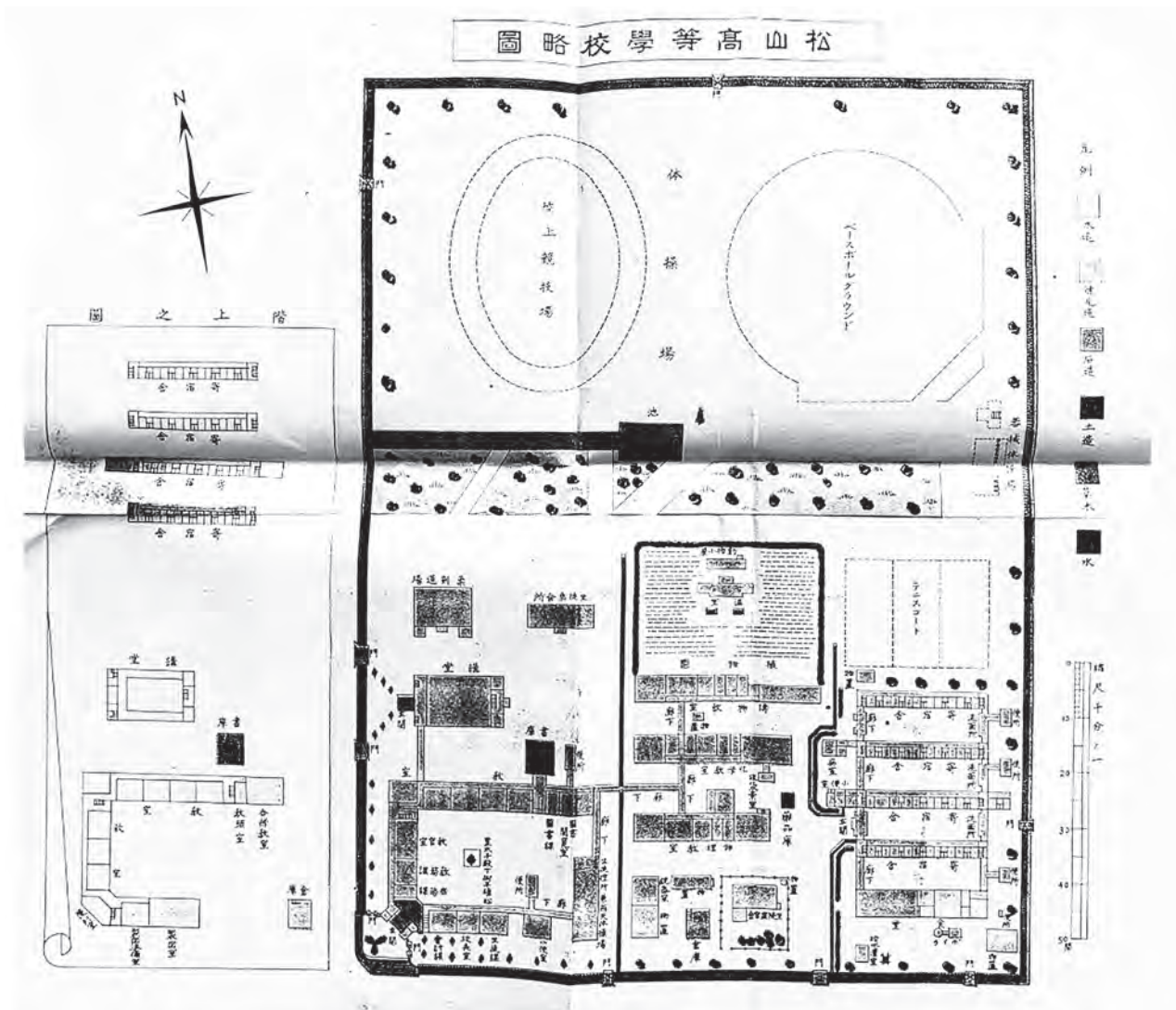


図A

次に古いと考えられる略図（建物配置図）が写真②となります。

かなり建物が整備され、陸上競技場、ベースボール

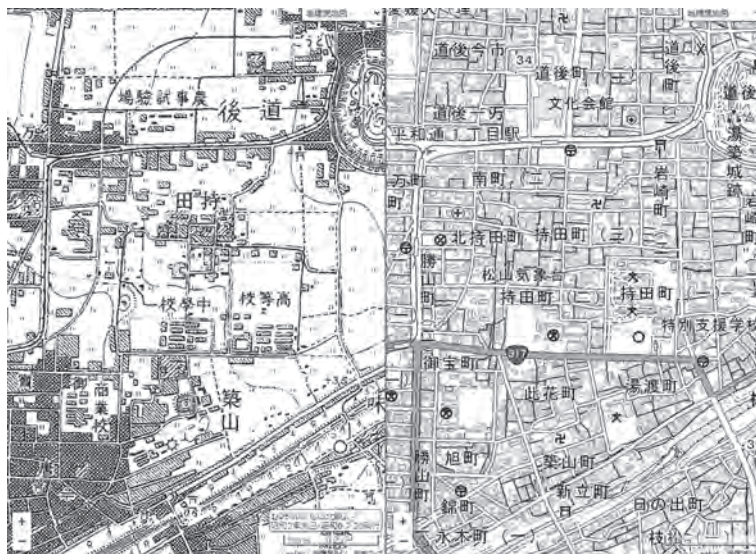
グラウンド、テニスコート、植物園等があったことが分かります。先ほど謎だった構造物も池と記されています。



写真②

図Bは、昭和3(1928)年のものですが、高等学校として中学校（松山東高校の前身）と並んで載っています。

（この地図は、時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」(©谷 謙二)により作成したものです。)



図B

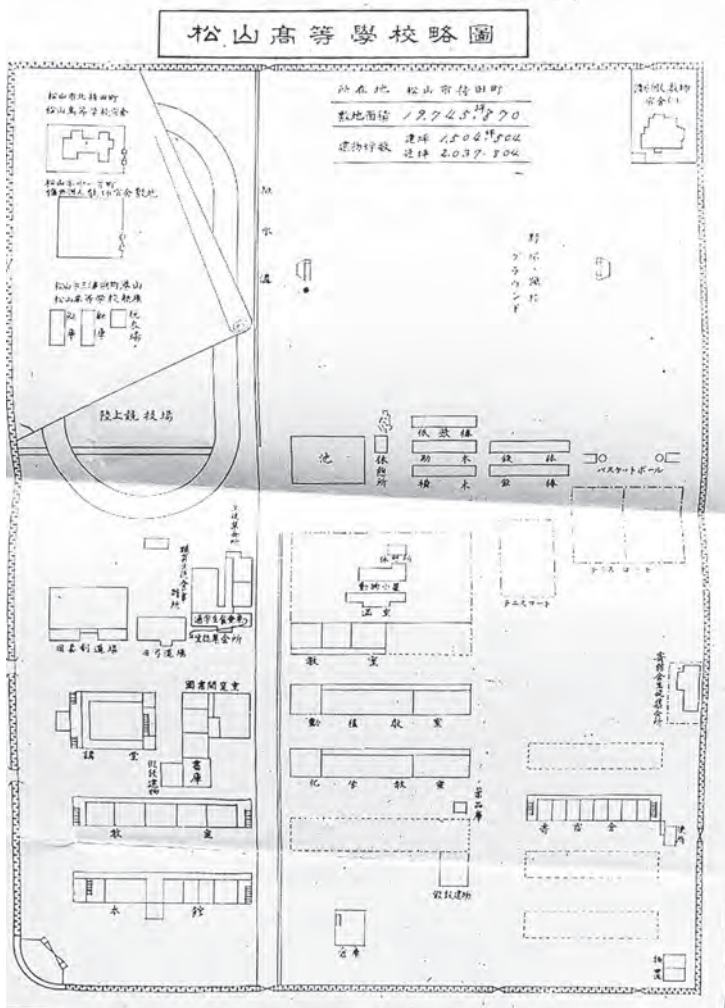
次の写真③は、横書きの表記が左から右になっているので、かなり新しいものと思われます。

ここで注目すべきものは、右上隅(北東隅)にある「傭外国人教師官舎」と陸上競技場に重ねて記載されている「傭外国人教師官舎敷地」(中一万町)と「艇庫」(三

津浜町港山) になります。

この時代の旧制高等学校では、外国人教師による講義が行われ、専用の官舎を与えられるほど厚遇されていたようです。

艇庫の他にも野球のグラウンド、陸上競技場をはじ



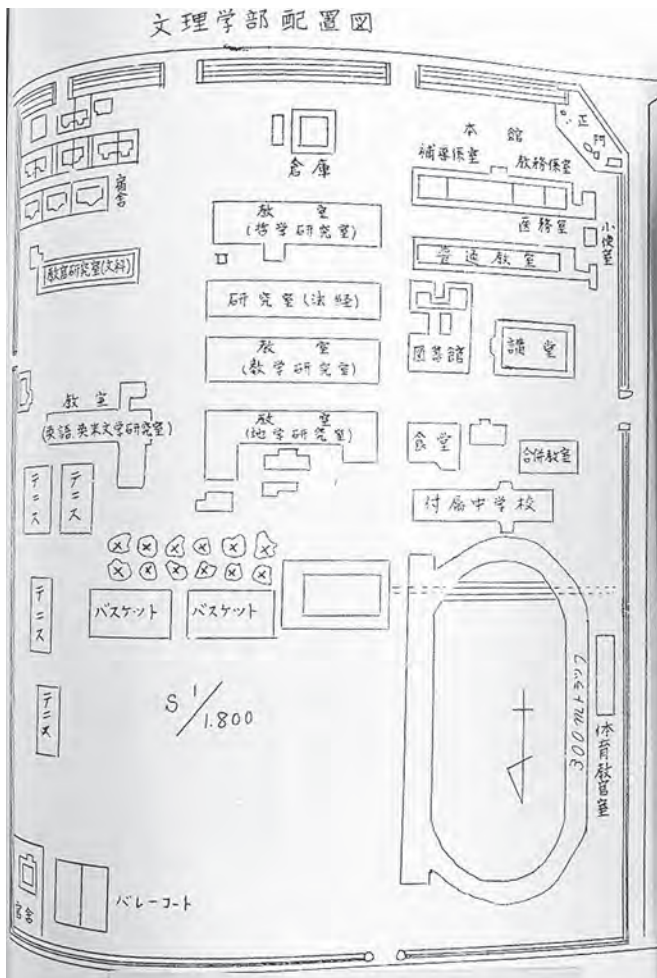
写真③

め、バスケットボールコート、テニスコート、柔剣道場、弓道場等があり、現代と変わらない運動施設が整備されていました。

寄宿舍に加えて、購買や食堂、生徒集会所もあり、福利厚生施設も充実していたようです。



写真④



写真⑤

話はいきなり戦後になります。

写真④は、昭和31(1956)年の愛媛大学所在地略図になります。

本部・教育学部(1)、文理学部・附属図書館(2)、工学部〔新居浜〕(3)、農学部・附属農業高校(4)、附属中学校(5)、附属小学校(6)に加えて、御幸寮(7)、大和寮(8)、祝谷寮(9)、道後寮(10)の4つの寮があったことが分かります。御幸寮(7)【これも位置が微妙ですが】以外は現存していませんが、私(菊川)は、昭和55(1980)年に愛媛大学教養部に就職した際に祝谷寮(9)については、噂を聞いたことはあります。

次の写真⑤は、昭和37(1962)年の文理学部の配置図になります。これまでの配置図と南北が逆さですが、基本的な建物等の配置に変化はありません。文理学部なので、哲学、法経、数学、地学、英語、英米文学等の研究室があります。

相変わらず敷地の真ん中には池があるようで、陸上競技場の下を暗渠が通っているように見えます。

何故か附属中学校がありますが、この時期(昭和38(1963)年～39(1964)年)に、文理学部と工学部が城北地区に移転・統合されているので、その影響かもしれません。

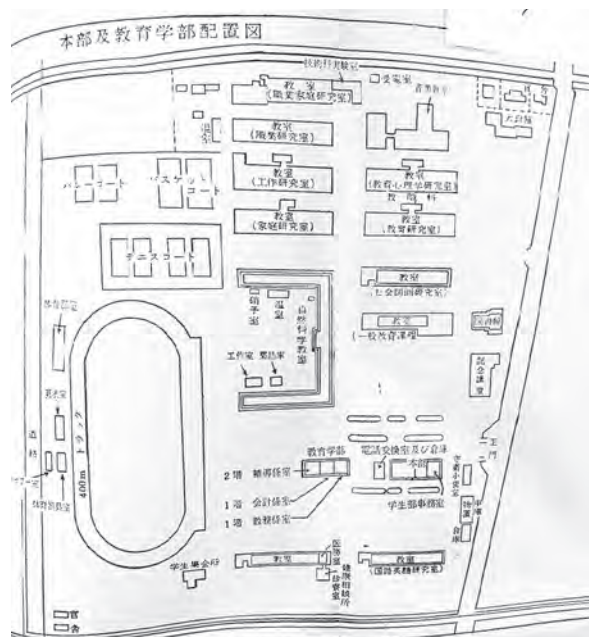
次の写真⑥は、写真⑤と同じ昭和37(1962)年の本部及び教育学部の配置図になります。

正門、記念講堂(現在の南加記念ホール)、テニスコート等の位置は変わりませんが、敷地西側の400mトラックが、もの凄い存在感を示しています。

現在の文京町3番地区全体が本部と教育学部で、敷地北東隅の「大真館」の道路を挟んで東には附属中学校、北東の護国神社の隣には附属小学校があったことになります。

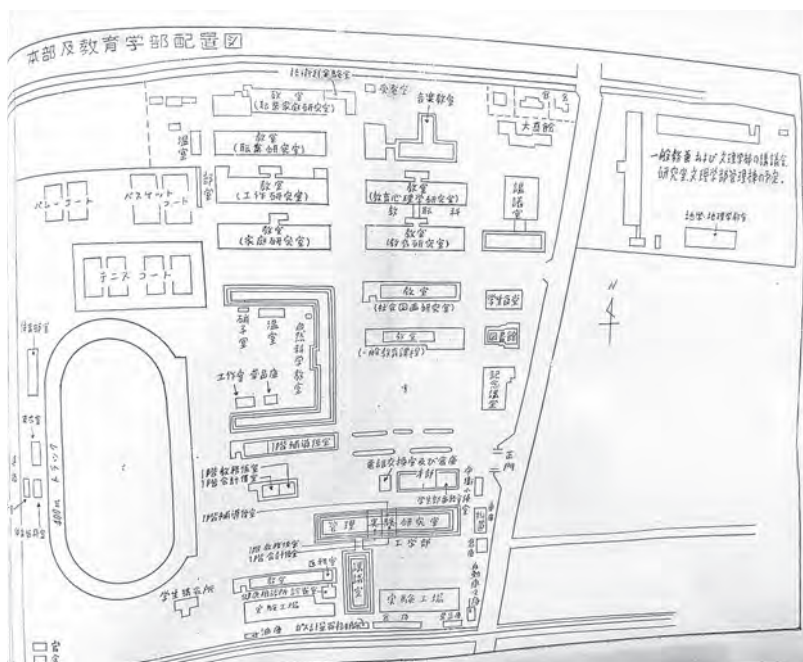
なお、「大真館」の石碑が、現在の大学会館敷地の北西にあります。

教育学部自体は、戦前に北堀端にあった高等師範学校等が城北練兵場跡地に移転してきたものです。



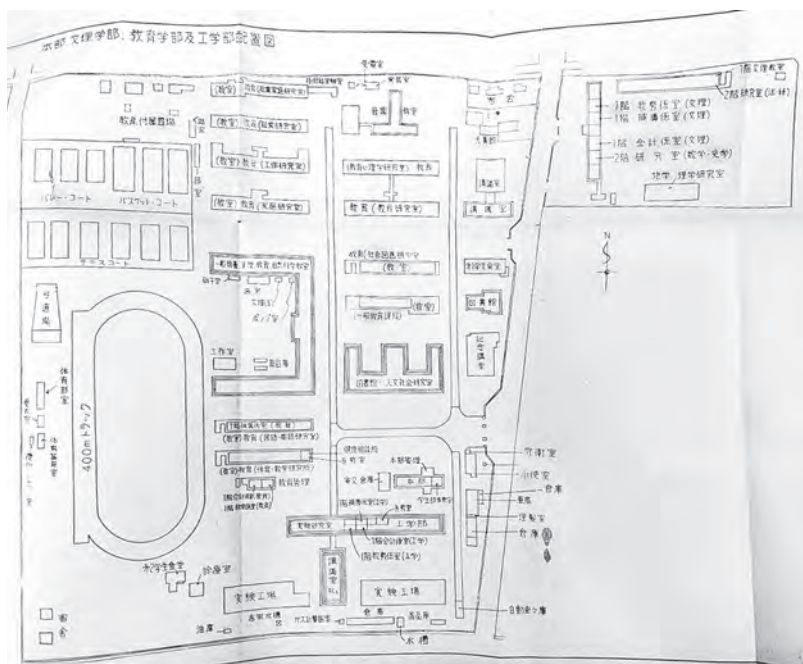
写真⑥

次の写真⑦は、昭和38(1963)年の本部及び教育学部の配置図ですが、敷地南側には工学部が移転してきています。附属中学校跡地には、「一般教養および文理学部の講義室、研究室、文理学部管理棟の予定」の記載があります。



写真⑦

次の写真⑧は、昭和39(1964)年の本部、文理学部、教育学部及び工学部の配置図です。文理学部が持田地区から移転しています。あわせて新しい図書館ができています。



写真⑧

(次号につづく)

同窓会 提供講座『社会と人間』

報告

14年目を迎えた提供講座は、新型コロナウイルスの感染対策で対面での授業ができず、オンライン配信で、2020年10月7日(水)から2021年2月3日(水)まで15回にわたって開講されました。

学生はZoomを使ってアクセスし、講師は大学内の1室あるいは自宅などの遠隔(一部ビデオ録画)でカメラに向かって授業を行うという初めての経験でした。慣れない環境での運営でしたが、大きな事故も無く15回を終えることができました。

担当の秋山英治先生・松原英世先生およびお手伝いいただいた学生の皆様には、多大なご負担をおかけしましたが、最後までしっかりと運営していただき、ありがとうございました。最終回の2月3日には、アシスタントの学生3名に松本副会長から感謝状と記念品を贈呈しました。なお、例年行われている講師陣との反省会・懇親会は中止といたしました。

回	テ ー マ	担当日	担当講師名	現 職
1	ガイダンス	10/7	西田 和真	愛媛大学法文学部同窓会 会長 元松山税務署長
2	アナウンサー 働く女性の現在	10/14	後藤 珠希	フリーアナウンサー(司会・ナレーター)
3	技術者として働く	10/21	渡部 公則	元 四国電力株式会社 原子力本部 原子力部 部長(品質管理担当)
4	自営業で働く	10/28	八束 誠二	WYZ TOKYO in MATSUYAMA 経営(店長)
5	税理士として働く	11/4	重松 直江	愛媛大学 監事 重松直江税理士事務所 税理士
6	報道業界で働く	11/11	藤原 尚之	南海放送 東京支社営業部
7	市職員として働く	11/18	大西 孝史	松山市 保険福祉部 介護保険課 総務担当
8	警察官として働く	11/25	坂本 萌花	愛媛県警察本部 警務課 採用係

回	テ ー マ	担当日	担当講師名	現 職
9	放送業界で働く	12/9	岩見 龍也	(株)日テレ・テクニカル・リソース 経営企画室
10	IT創業そして 旅行業で働く	12/16	渡部 雅泰	クレストデジタルズ(株) 代表取締役 社長
11	県職員として働く	12/23	栗田 謙	愛媛県行革分権課
12	小売業で働く	1/13	宮野 愛子 金田 洋和	株式会社フジ 衣住第3商品部 文具・玩具バイヤー 株式会社フジ・トラベル・サービス エミフルMASAKI店 店長
13	金融業界で働く	1/20	薬師寺正義	株式会社愛媛銀行 ソリューション 営業部
14	愛大職員として 働く	1/27	菊川 昭治	愛媛大学 研究支援部 情報システム課
15	ま と め	2/3	松本 長彦	愛媛大学法文学部同窓会 副会長 愛媛大学法文学部 教授

提供講座の受講生に対するアンケート結果

■Zoomを使った授業方式について■

とても良かった 66.0% あまり良くなかった 4.0%
やや良かった 30.0% まったく良くなかった 0.0%

(良かった点)

チャットを用いた質問形式で聞きたいことが気兼ねなく聞けた／遠隔だったので質問がしやすかった／教授やTAの方々の円滑な講義運営で不便はなかった／移動時間が節約できた／自宅の静かな環境で集中できた／

資料がPCに映し出されるので見やすかった／受講者数が多いのでZoomの方が効率がいい／遠くに住む講師の話が聞けた／対人が苦手なので受け易かった

(悪かった点)

ネット環境が良くないので映像や音声が乱れることが多かった／受講人数が多く通信速度が遅くなって画面が固まってしまうことがあった／直接対面で話を聞きたかった／意見交換会や交流会などができなくて残念だった／対面の方が集中でき話を理解できる

2021年度 提供講座開講のお知らせ

回	テ ー マ	担当日	担当講師名	現 職
1	ガイダンス	10/6	西田 和真	愛媛大学法文学部同窓会 会長 元松山税務署長
2	警察官として働く	10/13	坂本 萌花	愛媛県警察本部警務課採用係
3	金融業界で働く	10/20	松下 行男	株式会社伊予銀行 人事部
4	航空業界で働く	10/27	山田 唯	高松空港株式会社 空港営業部 マネージャー
5	アナウンサーとして働く 働く女性の現在	11/10	後藤 珠希	オフィスラブリ フリーアナウンサー (司会・ナレーター)
6	IT業界で働く	11/17	伊藤 佑介	サイボウズ株式会社 カスタマー 本部 ローカルプランディング部 プロジェクトマネージャー
7	教育の現場で働く	11/24	植田 孝裕	西予市立野村中学校 教諭
8	弁護士として働く	12/1	玉井 秀樹	親和法律事務所 松山事務所長

回	テ ー マ	担当日	担当講師名	現 職
9	放送業界で働く	12/8	細谷 佳菜	日本放送協会 制作局 (第1制作ユニット) 教育・次世代 ディレクター
10	起業家として挑戦	12/15	芳野 裕士	株式会社 GOOD FIELD 社長
11	松山市職員として働く	12/22	阿部 由佳	松山市役所 保健福祉部 障がい福祉課 主任
12	小売業で働く	1/12	梅本 葉月	株式会社フジ 生鮮食品事業部 マルシェ事業運営部 本部リーダー
13	学芸員として働く	1/19	田中 謙	今治市教育委員会事務局 宮窪地域教育課教育担当係長 兼 村上海賊ミュージアム主事
14	新聞記者として働く	1/26	石下 奈海	株式会社中国新聞社 尾道支局
15	ま と め	2/2	松本 長彦	愛媛大学法文学部同窓会 副会長 愛媛大学法文学部 教授

講師の方に感想をお聞きました！

第7回「市職員として働く」

松山市 保険福祉部 介護保険課 総務担当(当時)

大西 孝史



今回、「市役所で働く」というテーマでお話させていただきました。

講義を開催している 法文学部では、公務員を志望する学生が多いと聞いていましたので、私の市役所での業務経験を参考にさせていただきたいと思いました。

講義では、私がこれまで所属したそれぞれの部署での「やりがいや苦労したこと」、「公務員のイメージと現実」、「ICT化やコロナ禍による働き方の変化」などをお話させていただきました。

市役所の仕事は「ゆりかごから墓場まで」と言われており、業務の範囲が広く、窓口業務に加えて、直接、生死に関わる業務や、ゼロからイチを生み出す企画的な業務もあります。このような中、毎日夜遅くまで残業していても生き生きしている職員もいれば、残業は無くてもくたびている職員もあり、モチベーションを高める方法は様々だと思いますが、私は個々の達成感を大事にしていることをお話させていただきました。

また、携帯やスマートフォンの普及などで、一人で時間を過ごしやすくなったことに加え、コロナ禍による外出制限で在宅ワークが推進されるなど、働き方も変わる中、様々な「コミュニケーション」が大事であることをお話させていただきました。

新型コロナウイルス感染症への対策のため、講義はオンライン方式となり、私には初めての貴重な経験になりました。前回、同じテーマでお話した際、学生からの質問数は2つでしたが、今回はオンラインでの質問数が100を越えたことから、コミュニケーションツールの多様化の効果を感じたとともに、学生が真剣に私の話を聞いてくださったことが分かり、嬉しく思いました。

私の学生時代はバブル経済崩壊後の就職氷河期で厳しい状況でしたが、周りの方に助けていただきながら、自分を見つめ直す良い機会となりました。学生の皆さまには、壁にぶつかっても、焦らず、自分と向き合いながら、自分らしく目標に向かっていただきたいと思います。心から応援しています。

最後に、このような機会を与えてくださり、誠にありがとうございました。

第12回「小売業で働く」

株式会社フジ 衣住第3商品部 文具・玩具バイヤー

宮野 愛子



2019年度と2020年度の2回、「小売業で働く」の講義をさせていただきました。

学生時代のこと・就職活動・店舗での仕事・バイヤーの仕事(現在)・これからの自分という内容をお話させていただきました。

2019年度の講義では、約200名の学生の方々に前に、とても緊張しましたが、皆さんこちらを見てくれており、目が合い、頷きながら聴いてくれている……この反応に勇気をもらいました。

こんなに真剣に聴いてくれている学生さんたちにとって、私の経験・失敗・今の仕事の内容・やりがいなどが、少しでも役に立つ情報になればいいと、改めて強く思いながら、講義を続けました。

講義後、わざわざ私の所まで来てくれて、「今まで小売業を就職先として考えていなかったけれど、選択肢に入れます。」

と言ってくれた学生さんが居ます。

思いも寄らない言葉を掛けてもらい、感動しました。

小売業・会社のアピールのつもりではなく、少しでも役に立つ情報になれば……という思いでの講義でしたが、その中で、今の私の仕事に興味を持ち、気持ちが動いたという学生さんが居ること・それを伝えに来てくれたことをとても嬉しく思いました。

2020年度はリモート講義となり、学生の皆さんに直接お会いできなかったことはとても残念でした。

しかし、より多くの質問にお答えできたのは、リモート講義のお陰だと思っています。というのも、通常の講義形式では、質疑応答時間内に指名できる学生さんの人数は、やはり限られます。

また、私自身、後から振り返り、「もっとわかりやすい答え方ができたのではないか」「もっと付け加え伝えたいことがあった」などという反省点も残っていました。

リモート講義においては、チャットで書き込んでくれた質問内容を受け取り、後日返信させていただくという形になりました。

約90個ものたくさんの質問をいただいたこと・講義を真剣に聴いてくれたからこそその質問内容を見て、直接は会えなかったけれど、こうしてコミュニケーションが取れたとも感じました。

そしてこれらの質問1つ1つに真剣に向き合うことは、「学生時代、自分が不安だったこと・その克服法・仕事の意義・やりがい・今後の自分」などについて、私自身が改めて向き合う、貴重な時間にもなりました。このような機会をいただいたことに感謝しております。

最後に、ご縁あって受講してくださった皆さんが、近い将来、社会で輝いている姿を楽しみにしております。

愛媛大学法文学部同窓会へ御寄付いただきました皆様の御芳名一覧

(令和3年3月末現在)

愛媛大学法文学部同窓会への寄付のご協力に心より御礼申し上げます。感謝の意を込めまして、ここに御芳名を掲載させていただきます。(50音順・敬称略)なお、御芳名の掲載については、同意をいただいた方のみとなっております。その他多数の皆様からの温かい御支援を頂戴し、深く感謝申し上げます。

【ア行】

青野 純子	赤瀬 晃也	穂岡 謙治	秋山 久恵	浅山 博志	阿部 広明	荒井 源雄	荒木 敬
安藤あさみ	井川ちづ子	池内 功	池内 睦子	池川 孝文	石井 智美	石川 公寛	伊東 圭一
伊藤 眞平	井野 桜瑚	井上 親	井上 政清	猪熊 兼年	今永 修	今西 英司	今村 威
岩城 博年	岩崎 俊夫	岩崎 裕重	上田 将輝	上原実佐子	上松香代子	浮田 英明	宇治木大輔
宇都宮眞由美	馬木 精吾	遠藤 佳春	大岩 義雄	太田 重明	大西 直純	岡 靖子	小笠原 均
岡田 禎之	尾川原寛次	岡本 英男	岡本美恵子	奥田 仁之	越智 翼		

【カ行】

鍵山佐恵子	笠原 邦一	鹿島 勝	楮山 睦美	片岡 修	片岡 正雄	加藤 直也	加藤 正晴
加藤 昌	加藤 好文	門田 吉雄	門田 潔	門田 悟	兼久 良二	鎌田 孝史	蒲池 正宏
上谷 洋子	川上絵梨香	河上 幸市	川上 弘之	川原 学	河村 新吾	川本 清治	菅 勝
菊地 久男	菊地みのぶ	岸 武弘	國元 通生	久保 泰敏	熊石 康生	蔵田 憲治	黒河シゲ子
小池 昭彦	合田 文男	河内 泉	河野 純子	小崎 弥生	小林 紀子	五味 俊一	近藤 了祐

【サ行】

佐伯 鈴乃	佐伯 弘行	坂田 せい	坂本 哲巳	坂元 陽介	坂和 守廣	佐々木乾二	笹木 茂伸
佐々木珠希	佐藤 雅彦	佐野 章雲	佐伯 秀雄	澤井 達夫	塩見 裕司	汐見 謙	直原 通治
重川 剛	重松 修	島村 俊彦	清水 秀一	清水富美枝	下向井敏明	庄野 礼子	白井 瞳
白石 朋広	白石 隆	白川 政憲	鈴木 久美	鈴木 大輔	住田 啓子	清家 丈裕	清家 信孝
妹尾 穎一	仙波 敦夫	相馬 昇	園部 忠				

【タ行】

田井野 勝	高須賀 敦	高杉 晃吉	高橋 孝伯	高山奈緒子	竹内 譲二	竹内 真人	武田 信
竹田 美喜	田坂 君子	橘 健司	橘 齊	田鶴谷寛子	楯岡 敏彦	田中 忠	谷 真希子
谷口 光正	田畑 栄造	玉井 周平	津田 朋美	寺澤 徹哉	寺地 雄二	土居 俊夫	徳本 隆司
利根 克典	豊澤 正則	鳥井 幸一	鳥生 勉歳				

【ナ行】

中 祥子	永井 剛	中川 勝博	中島 邦雄	成清 寿一	西岡 秀記	西岡 倫弘	西田 和真
西村 佳純	仁田 一也	能野 美咲	野寄 明子	野田 勝美	乃万 哲	野本 忠江	乗松 真二

【ハ行】

畠中 節男	濱田 洋光	濱松 一良	林 克彦	林田 貴光	張本 雅宣	日野 恵一	姫田 祐輔
兵頭 厚子	平野 嘉成	弘内日出雄	深坂 穰	福家 清司	藤岡 達夫	藤田 育子	藤野 滋
藤原 裕治	古田 陽子	平良 稔	保科 昇	細川 陽平	堀田 深山	堀井眞由美	本田 公子

【マ行】

正岡 潔	松浦 道明	松岡 久朗	松島 稔	松田 敏幸	松本 長彦	丸子 英明	三家本国雄
水田 實	光石 宏	光田 正	宮首 賢治	宮崎 嵩大	宮永禮二郎	宮本 泉	三好 邦夫
三好 博巳	三好 裕美	村上 和恵	村上 邦子	毛利 修三	森 健一	森 浩平	森 春美
森實 聞三	盛田 隆	森永 茂男					

【ヤ行】

安永 博邦	八塚 洋	柳田 耕生	藪内 崇司	山内 千代	山内 恒幸	山岡 安子	山口 信夫
山口 里奈	山田 稔子	山田 光彦	山根 勝美	山根 淳一	山根 桃恵	山村 好克	山本 純
横山 弘通	吉野内直光						

【ワ行】

若江美千子	脇 敏夫	和氣坂ハナミ	脇田 忠徳	渡部久仁子	渡部 浩三	渡部 早苗	渡部 剛
渡邊 博重	渡部 雅泰						

[2021.3.31現在] 1,540,000円 寄付者総数295人(内、匿名希望42人、掲載可253人)
 [2020.3.31現在] 1,591,072円 寄付者総数350人(内、匿名希望44人、掲載可306人)

寄付金の払込時にお寄せいただいた 「応援メッセージ」をご紹介します。

文末に記載しているのは、英文字のイニシャルと卒業年(西暦)の下2桁です。
なお、56人の方々からメッセージをいただきましたが、誌面の都合上、一部
のみのご紹介となることをお許しください。

- * 皆様 コロナに負けず がんばってください。 TS 72
- * 頑張れ “青い地球交流記”。 KK 62
- * コロナに負けずに、学生生活を楽しんでください。 KH 82
- * 今すべきこと、今できること、今やりたいこと。全てを大切に 今を生きてください。 YS 88
- * 学舎、寮生活、部活動、学友など、たくさんの宝物を大切にしてください。 SO 68
- * 会報、いつも楽しく拝見しています。健康第一、新型コロナウイルスに感染しないように、出来る事をやりましょ
う!! MM 92
- * コロナ禍で入学式・就活など何もできなくなりましたが、これも生涯の試練と思い頑張ってください。 KT 78
- * 学生生活、思いっきりたのしんでください。 SK 13
- * 会報・同窓会が益々発展しますように。 CY 03
- * 愛媛を盛り上げるために頑張ってください。 AT 96
- * コロナに負けるな現役生! IM 82
- * コロナ禍の中、大学も大変でしょうけど、皆様、夏バテが出ませんよう、ご自愛なさって、ご活躍くださいます
こと、お祈り申し上げます。 JK 00
- * 大学生の皆さん、コロナに負けないで頑張ってください。応援しております。 MK 83
- * コロナ禍で制約が多いですが愛大生の健闘を祈念しています。 HM 89
- * コロナ禍でさまざまな活動が難しいとは思いますが、愛媛大学がますます発展しますように。 YN 99
- * 苦しい時勢の中ですが、がんばってください。遠方から応援しています。 MI 17
- * コロナにめげず がんばってください。 KS 61
- * コロナに負けず頑張ってください。 KI 90
- * がんばろう。 TS 88
- * コロナ禍で大変だけど、みんなで乗り切ろう。 HT 16
- * 目標を立てて、勉学に励んでください。 HO 74
- * コロナに負けないようにお互い頑張りましょう。 MH 68

ふるさと応援 (2020年度実績)

※希望される地区へ寄付金の半額を交付する制度

関東支部	44,500円
関西支部	23,500円
広島支部	103,500円
四国支部	104,000円

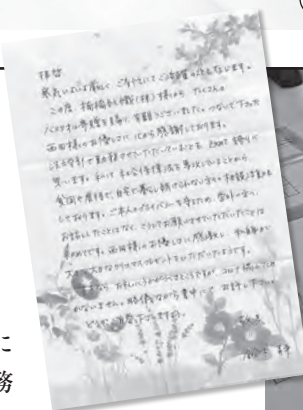
同窓会が取り持った縁

岡山のNPOへ バスタオルを寄付

法文学部同窓会提供講座の担当教授でお世話にな
った鈴木静先生(社会保障学)から、同窓会事務
局に連絡があり、先生が理事を務める岡山市のNP
O法人「おかやまUFE」がバスタオル提供の支援



バスタオルを提供して頂いた楠橋紋織(株)の前で楠橋功
社長と西田同窓会長



鈴木先生からの
お礼の手紙



提供されたバスタオル

をお願いしているとのことでした。

「おかやまUFE」は、生活困窮者を一時的に保護する施設(シェルター)
も設置していますが、コロナ禍で収入が減って住居を失った人などが相
次いで入居しており、お風呂用のバスタオルが不足していました。

そこで、今治市のタオルメーカー「楠橋紋織(株)」に同窓会が働きかけ、
バスタオル100枚の無償提供を得て郵送しました。

岡山では、地元の山陽新聞に「コロナ禍困窮者支援 今治のメーカー
バスタオル寄贈」の見出しで報道(2020年12月26日付)されました。

後日、バスタオルの無償提供について「おかやまUFE」の理事長およ
び鈴木先生から同窓会宛にお礼状をいただきました。

愛媛大学埋蔵文化財調査室・ 愛媛大学考古学研究室同窓会



三吉 秀充
(1995年文学科卒)

卒業後から近況まで

私は1995年3月に法文学部文学科を卒業し、1年間、法文学専攻科に在籍した後、1996年4月に愛媛大学法文学部助手(埋蔵文化財調査室調査員を兼任)に採用されました。その後、先端研究・学術推進機構埋蔵文化財調査室に配置換えとなり、現在は埋蔵文化財調査室で准教授をしています。

埋蔵文化財調査室は、愛媛大学のキャンパス地下に眠る遺跡の保護を目的として、1987年に設立されました。城北キャンパスには文京遺跡や道後樋又遺跡、樽味キャンパスには樽味遺跡、持田キャンパスには持田遺跡、学生寮のある御幸地区には御幸遺跡が広がっています。中でも文京遺跡では、70回を超える発掘調査が行われ、大量の土器・石器が出土し、その中には瀬戸内各地や九州の土器、人面を象った分銅形土製品なども見られ、弥生時代中期末～後期(紀元前1～後1世紀)の大規模集落が営まれたことが明らかになっています。また近年では、縄文時代の集落や畠跡、古墳時代の集落、近代の練兵場としての戦争関連遺跡としても知られるようになっていきます。調査・研究の成果は、学術的報告だけでなく、2009年に開館した愛媛大学ミュージアムにおいて常設展示やスポット展示などを行い、広く公開しています(写真1)。またキャンパス内での調査は、得がたい教育素材ともなります。臨地講

義として発掘調査中の遺跡を見学した卒業生もいらっしゃるのではないのでしょうか(写真2)。

遺跡の調査・研究と利活用

学内に眠る遺跡の調査・研究に加えて、古墳時代中期(1600年前)に列島で生産が開始した須恵器の研究を行っています。須恵器生産技術は、鉄器生産・紡織技術などの当時の最先端技術とともに渡来人によって列島にもたらされました。こういった新たな技術が、どのように受容されて定着していくのかについて、松山平野南部、伊予インターチェンジの西側に所在する市場南組窯跡(写真3・写真5)におけるフィールドワークを通して調査・研究を進めています。

近年の研究成果では、列島各地で須恵器生産を開始していることが知られています。中央窯ともよべる大阪府陶器産の須恵器が広域に流通しているのに対して、地方で生産された須恵器は窯跡を支配下に置く首長の支配領域、あるいはその隣接範囲での流通に限られると考えられていました。しかし、市場南組窯跡で生産された須恵器の調査・研究を進めていく中で、東九州、西部瀬戸内～大阪湾沿岸地域まで広く分布していることを明らかにすることができました。中央から地方という流れだけでなく、各地域の首長間でも須恵器が流通していたことになり、当時の社会を理解する上でも大

出願期間(予定)

○教養学部・大学院(修士選科生・修士科目生)

4月入学:2021年11月下旬～2022年3月中旬(予定)

10月入学:第1回募集 6月10日～8月31日

第2回募集 9月1日～9月14日

○大学院:修士全科生(年1回募集・選考試験あり)

8月14日～8月25日

多彩な放送授業 約300科目。1科目からでも学べます。

*資料を無料で差し上げております。お気軽に愛媛学習センターにご請求ください。



放送大学 検索

〒790-0826 松山市文京町3番
放送大学愛媛学習センター
TEL 089-923-8544
URL www.sc.ouj.ac.jp/center/ehime/

愛媛県以外の方は、本部へお問い合わせください。

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11

放送大学 本部 TEL 043-276-5111(総合受付) URL www.ouj.ac.jp



(写真1) ミュージアムでのスポット展示



(写真2) 臨地講義の様子



(写真3) 市場窯跡



(写真4) 安芸市土居郡中伝統的建造物群保存地区の視察



(写真5) 窯跡周辺から見た伊予灘

きな成果と言えます。

市場南組窯跡の周辺には、県指定文化財で、古代の瓦を焼成した市場かわらがはな古代窯跡群、戦前に陶磁器を焼成した三島焼窯跡群もあります。これらの窯跡は、操業の時代、焼かれていたものも異なりますが、伊予市の歴史を雄弁に物語る文化資源です。窯跡の所在する丘陵の眼前には伊予灘が広がり(写真5)、新たな技術は海からやってきて、その技術を用いて生産されたものも海を通じて広く各地に流通していたのです。大学や行政、窯跡周辺の地元の皆さんといった多様なステークホルダーとの協業で、遺跡だけでなく周辺の環境を一体化させた上での研究・利活用を進めているところです。

考古学研究室の同窓会事務局として

また同窓生との関わりでは、愛媛大学考古学研究室同窓会の事務局を務めています。愛媛大学考古学研究室は、下條信行先生の1985年着任に伴って発足し、現在150名以上の卒業生がいます。1996年4月における法文学部改組に伴い、考古学研究室の位置づけを再確認すること、研究室発足10年を超え、文化財専門職に就く卒業生が多くなったことなどを踏まえて、愛媛大学考古学研究室同窓会が組織されました。また県内の市町だけでなく、他県に就職して広域で活躍することとなり、日常業務や研究を進めていく上で、連絡網があれば有益だろうとの考えから、1996年5月に連絡誌(同窓会誌)創刊号が発行されました。

現在、第1期卒業生である梅木謙一さん(松山市考古館長)が会長、私が事務局として年2回の会誌の編集・発行ならびに年1回で交流会を開催しています。

会誌では、研究室をとりまく近況の紹介、卒業生の近況、文化財を巡る卒業生の取り組みを紹介しています。卒業生には、文化財専門職員や学芸員の方が多く、文化財を巡る話題が中心となりがちですが、就職後に携わることとなった仕事や身近な近況等も紹介してもらっています。なお、考古学専攻生で同窓会誌が未着の方がいらっしゃいましたら、三吉までご連絡下さい。

また、大学に招待するものではないので、ホームカミングデイとまではいきませんが、卒業生である小野倫良さん(今治市教育委員会)にコーディネーターとなって頂き、交流会を企画し、全国各地のみならず中国、韓国の文化財の現状や文化財の利活用についての視察(写真4)と同時に、全国各地に就職した卒業生同士あるいは在学生との交流の場としています。

考古学研究室同窓会も発足25年を迎え、愛媛大学校友会や法文学部同窓会とは別の視点から大学と卒業生との橋渡しの役割を担いながら、卒業生のキャリアサポートに努めていきたいと思っています。

『ブラタモリ』はすごい

今治市村上海賊ミュージアム学芸員 田中 謙
(2003年 人文卒)



はじめに

大学1回生の時に受講した日本語文法のK.K先生の余談を思い出しました。

「昔、社会人になった教え子が、『先生、僕は就職してテレビを作りました。すごいでしょ』と自慢をしますのです。私はこう答えてやりました。『ほう、そうか。でもテレビだけあっても流すものがなければただの箱だ。テレビが映しているのは文化。中身を作るのは私たち人文系の仕事でしょう』と」(一字一句までは覚えていませんが、おおむねこのようなお話だったと思います)。

あくまで例え話ですが、いわゆる理系と文系のどちらがすごい、どちらが偉いではなく、お互いの仕事があって一つの物事が意味を成すということ、そして私たちが学ぼうとしている分野は、社会を豊かにするために必要不可欠なんだということを教えていただいたのだと思います。19歳の私の胸にストンと落ちた瞬間でした。

『ブラタモリ』出演秘話

なぜこのエピソードを思い出したのかというと……。そう、私は最近、テレビの中身を作る仕事の一端を経験したのです。それは今年1月に放送されたNHK『ブラタモリ』への案内人としての出演でした。

私が所属する村上海賊ミュージアムにはありがたいことに年間5～10本ほど、テレビ撮影の依頼があります。地元のケーブルテレビから全国放送まで、ニュース、バラエティ、歴史番組などジャンルも多彩です。2020年、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う最初の緊急事態宣言が発出され、臨時休館という静かな春を過ごしましたが、宣言が解除され夏になると、例年になく全国放送番組への出演依頼が舞い込みました。ちょうど昨年と同窓会報が刊行された頃のこと。テレビの製作側も視聴者も「旅」に飢えていたのかもしれません。

例えば10月に放送されたNHK『プロファイラー～夢と野望の人生～』では、タレントの岡田准一さんが来館され、村上海賊の強さの秘密に迫りました。同じくNHKの『絶対行きたくなる!ニッポン不滅の名城』も人気シリーズがゆえにその効果は絶大で、私が長年調査研究に関わってきた能島城の知名度がさらに上昇したことを実感しました。

極めつけが『ブラタモリ』でした。「しまなみ海道～“瀬戸内の覇者”村上海賊はなぜ生まれた?～」というお題でしたが、しまなみ海道編と言いつつも、オール今治ロケ。しかも半分以上が前回の同窓会報でも紹介した村上海賊の海城、能島城跡(国指定史跡)での撮影という、10年以上、調査研究や整備・利活用に関わってきた私にとっては、絶対に案内人の座は譲れない(笑)企画でした。

今回の案内人は私のほかにもう一人。日ごろから親交のある愛媛大学埋蔵文化財調査室の柴田昌児先生でした。能島城のパートは私で、後半の「村上海賊と塩」を柴田先生が担当されました。

さすがは国民の人気番組ですね。放送中にもかかわらずLINEやFacebookを利用して多くの知人・友人から温かいコメントが次々と届き、放送直後には村上家の直系子孫からも喜びの電話がかかってきました。Yahoo!で「村上海賊ミュージアム」と検索すると「田中謙」と勝手に出てくる衝撃。市内の図書館で、「あの人テレビに出てたよね」と指をさされるなんともむず痒い心地。噂では聞いてはいたものの、ブラタモリの反響はスゴイ……。

ブラタモリが人気番組であり続ける理由は、もちろんタモリさんの魅力にあると思いますが、加えて「そうきますか!」とタモリさんも唸るテーマの設定と、スタッフさんのとにかく入念な取材、そして(当然かもしれませんが)高いプロ意識にあると思います。ゆえに番組が出来上がるまでに私が費やした労力は、当館の展覧会1本分にも勝るほど。本当に大変でした。

番組作りと展覧会作りは少し似ているところもあり、ディレクターによる取材やロケハン、私たちが行う資料調査や借用交渉などに相当すると言えます。ブラタモリは決してストーリーありきではなく、私がお話ししたことや、現地での情報をベースにして、ゼロから台本が作りあげられていきます。例えば「セトダイ」という魚。煮付けがおいしいこの魚を芸予諸島界隈では「たもり」と呼ぶのですが、この話をディレクターさんにしたところ、しっかり採用されていました(笑)。

ディレクターさんと私たち案内人は常に遠慮なしの真剣勝負。台本のブラッシュアップは、撮影日直前まで続けました。正直こんなに大変な番組は初めてでしたが、関わった約5か月は本当に濃密で、刺激的で、改めて勉強することの多い日々でした。学術的にも重



タモリさんがみた瀬戸の風景（能島城跡から）

要な成果がありました。例えば、能島城の船着場と考えられる「船だまり」へ、復元した小早船をつけるという演出は、私にとっては壮大な実証実験でした。さらに海中に潜む「岩礁」を防御施設として見立てる展開は、今後、具体的に検証しなければいけない研究課題の一つとなりました。

このようにしっかりと準備を整え、事前に入念なりハースルも行うものの、いざ撮影が始まるとタモリさん次第などもあり（タモリさんとアナウンサーさんはそもそも台本の中身を知らない!）、なかなか台本通りにはいきません。タモリさんの博識がゆえに次のパートで出題しようと思っていたクイズの答えが先に出てしまうなど、想定外の展開に何度も焦りました。しかし、恐るべし編集の力。違和感なく仕上がるものなんですね。

ところで、このように入念な取材のもとで作られたプラタモリでも、「どうしてそう呼ぶのか」、「なんでそこまで言えるのか」と、視聴者が疑問に思った場面もあったと思います。「なぜ村上水軍ではなく、村上海賊なのか」という点は最もみなさんの関心が集まった事

柄でしょう。「村上海賊」は、近年こそよく使われるようになった呼称ですが、全国的にはその知名度はまだ低く、「海賊」と呼ぶことへの不満や異論が出てくることは容易に想定できました。

そこで、後輩学芸員のアイデアで、日本遺産村上海賊公式Twitterを利用してその理由を説明することにしました。タイミングは放送直後。結果は大成功でした。「いいね」は4000件近くいただき、フォロワーも大幅アップ。「村上海賊」はTwitterの「トレンド」なるものに入ったらしく、その反響の大きさに身震いました。反対意見が無くなったわけではありませんが、たくさんの方にミュージアムの考えが伝わったようです。

なぜ海賊なのか、気になりますよね？

Twitterで紹介した画像も掲載しましたが、ぜひ前回の同窓会報を読み返してください。

限られた時間の番組内で、視聴者が十分に納得できる説明をすることは難しく、専門家の方は消化不良に、そして一般の方には少なからず誤解を与えてしまうこともあります。だからこそ、番組後の情報発信が重要になってくるのです。

視聴者の反応から、とくに説明が必要だと思ったのは、タモリさんがとくに関心を寄せた村上海賊と「酒」、そして後半のキーワードであった「塩」との関わりについてです。後者については今年度の企画展やご依頼いただいた講演などで、より詳しく紹介し理解を深めていく予定にしています。お楽しみに。ここでは「酒」について、少しフォローしておきたいと思います。

村上海賊と「酒」

この関係がピックアップされたきっかけは、能島城跡で出土した「かわらけ」と呼ばれる素焼きの皿のか

海賊 にはいろんな 顔 がある！

ボディーガード 「奪う」だけじゃない、海の安全を「守る」海賊	水先案内人
水軍 海上では敵なし！ 織田信長の水軍にも勝利！	商人 物流にも関わる 村上海賊の物流基地「見近島」>
漁師 魚を獲ったり 贈ったり	文化人 連歌を詠み 茶や香も嗜む海賊

「水軍」は海賊の持ついろんな顔の一部にすぎません。海賊はいつも戦っているわけではなく、平時にもさまざまな活動をしています。「水軍」だけでは海賊の本質をあらわすことができないのです。

海の安全を守る **海賊**

村上海賊は、瀬戸内海を通行する船から通行料をとる代わりに、船が安全に航行できるよう道案内をしたり、ボディーガードをしたりしていました。

村上海賊の発行する海の安全保障状「過所旗」>

リアルタイム
 村上海賊が活躍した当時の呼ばれ方は **海賊**

よく村上「水軍」と呼ばれています。が、「水軍」と呼ばれるようになったのは、江戸時代になってから。

後世に呼ばれた「水軍」よりも、**同時代**に呼ばれていた「**海賊**」と呼ぶことにしたのです。

※当時、戦国大名などの「水軍」は、船を警固したりすることから「**衛固衆**」などと呼ばれていました。

京都府立京都大学・歴史館 東寺西文書 WEB から

Twitterに掲載した「なぜ海賊と呼ぶのか」の解説（※詳しくは日本遺産村上海賊公式Twitterをご覧ください。）



復元小早船による船だまりへのピーチング（リハーサル）
（※村上海賊ミュージアムスタッフブログに動画を公開しています。）

けらをタモリさんが手に取り、「これはいったい何でしょうか？」と私が出題したところにありました。

じっくり考えていたタモリさんは、「タモリさんが好きなものです」という私のヒントに導かれて、「杯^{さかづき}」という答えを出されました。その後一貫して、「海賊は酒好き」というイメージで語られるようになったのです。では何を根拠に出題したのでしょうか。

能島城跡では、7万点以上の焼きもののかけらが出土していますが、なんとそのうち約7割が「かわらけ」です。昨年大河ドラマをじっくり見られていた方はお気づきかもしれませんが、かわらけは、中に油を入れて火を灯す「灯明皿」としても使用されます。その場合は、皿の縁に黒いタールのようなものがべったり付いているので見分けがつきますが、それらを差し引いたとしても、毎日の食事ですぐの器としてはその数がかなり多いのです。

また、食膳用の器としては、中国産の青磁・白磁・青花の碗や皿もたくさん出土しています。土の中で腐って無くなってしまうことがほとんどですが、当時は漆器の椀なども使われていたことがわかっています。みなさんのお宅の食器棚を思い浮かべたとき、直径10cm前後の皿が7割を占めていたとしたら違和感がありますよね。

では、日常の食事ですぐの器や灯明皿のほかに、どのような使い方が想定できるのでしょうか。かわらけの持つ意味や使い方は研究者たちの関心事でもあり、多くの先行研究があります。それに従うと、かわらけは武家の儀式や宴の席、つまり非日常の場で使用される酒器や、酒の肴を盛る器であったと考えられています。身近な例でいえば守護大名河野氏の湯築城跡（松山市）の発掘調査では、かわらけが大量に廃棄された大きな穴が発見されています。この穴は武家の儀式や宴で一度用いられた「かわらけ」が繰り返し捨てられた痕跡であると理解されています。

能島城の本丸の発掘調査では、1万点以上の焼きもののかけらが出土していますが、そのうち約95%がかわらけでした。見晴らしの良い本丸で、海賊たちが杯を交わす姿をタモリさんも想像されたのでしょうか。

「かわらけ」の話題だけでも話せば長くなるのでこの辺りでやめておきますが、番組内でこのくだりを丁寧に説明することがいかに難しいか、ご理解いただけたのではないかと思います。

文化財が身近な存在に

ブラタモリの放送後、もっとも嬉しかったのは「能島のことがよくわかった。また行ってみたくなったよ」という地元の方の声でした。これまで情報発信や普及啓発に努めてきたつもりだったのですが、タモリさんの力をお借りして、より幅広く、地域の宝の魅力や大切さを伝えることができた

と思います。

メディアへの露出がメインの仕事と思われたら正直困るのですが(笑)、明らかになってきた歴史の真相やその魅力を多くの方に伝えることは学芸員の大切な仕事だと考えています。ある人は知的な欲求を満たし、またある人は次の旅行先が見つかったとワクワクしていらっしゃるでしょう。この番組がきっかけで、お住いの地域の文化財にも目を向けてみようと思われる方が一人でもいたら、これ以上嬉しいことはありません。

地域の歴史やそれを物語る文化財がもっと人々の身近な存在になってほしいと切に願っていますし、そうなるように、私たちはもっと努力しなければいけません。マスクを外して、自由に出かけられるようになった時、皆さんが選ぶ最初のおでかけ先が、ミュージアムや文化財であつたら良いなという願いを込めて、2度目の臨時休館の最中（2021年4月22日～5月31日）、この文章を書いています。この記事が公開される頃には、ワクチン接種が進み、収束に向かっていて良いですね。

しかし自分でもびっくりしています。小学生のころ、人前に出ると手が震えて、黒板にも字が書けないほどのあがり症だった私が（今となっては誰も信じてくれませんが）、まさか『ブラタモリ』に出演することになるとは……。

昨年8月に他界した父の感想が聞けなかったことだけが心残りですが、私が出演する全国番組は必ず見てくれていた父ですから、きっと天国で楽しんでくれたことでしょう。美味しい酒でも飲みながら。



能島城跡で出土した「かわらけ」（土師質土器皿）の展示風景

ハイキング部

1973 (昭和48) 年卒 西田 和真

廃部になったけどOBは今も元気一杯

(1) 草創期

愛媛大学ハイキング部は、1968 (昭和43) 年4月10日に数名の先輩によりサークル結成届を大学に提出し、当初は同好会の形でスタートしました。

正式なクラブと承認されていなかったため部室は貸与されず、平和通り交差点の喫茶「道草」(現ヘアメイクBosaco204)の二階の一室を借りて部室としていました。

そのため、1972 (昭和47) 年4月1日に設立された愛媛大学ハイキング部OB会の名称は「みちくさにかい」です。その後、市内を転々とし1975 (昭和50) 年になって、やっと大学から部室が貸与されました。

当初は山岳部やワンダーフォーゲル部との違いを明確にするということもあり、いわゆるハイキングを中心として県内の山野を歩き回り、中島で海水



▲槍ヶ岳をバックに(筆者)

▶血が嶺での新歓合宿
(1972年4月)



浴を兼ねた合宿を行うなど、レジャー的要素もふんだんに取り入れた活動を繰り広げていました。

ただ、同好会としては珍しく、規約で週2回のトレーニングが義務化され、城山や伊台までのランニング、東雲神社の階段でのうさぎ跳びやダッシュなど相当厳しいものでした。その甲斐あってか学内駅伝では上位入賞を果たしたり、学内ポートルースでは女子の部で優勝したこともありました。

当時は運動で根性がもてはやされた時代でしたので、ハイキングというソフトなイメージというものは恐ろしいもので、創部早々にして部員数は膨れ上がり、5年目には新入部員だけで30名を超えていました。

この頃には年間の活動も定着し、月例は班構成で県内各地へ、新入生歓迎ハイキングは1泊で血ヶ峰、夏合宿は中四国や九州の山で行いました。また、岐阜大ハイキング部や東雲短大山岳部との交歓ハイキングなど他大学との交流も行っていました。

当時のリュックザックといえば布製のキスリング型で合宿ともなると15キロ~20キロの重さを担いで歩

く、テントは松山市教育委員会から借りた布製でそれは重たいものでした。この頃から抱いていたイメージとクラブ活動の実態が大分違っていったのか退部者も多くなってきたようです。

(2) 全盛期

昭和の終わり頃から平成の初めにかけて、部員数も100名近くに膨れ上がっていました。活動範囲も大幅に広がり、OB会報紙「風のたより」によると、合宿もそれまでの定番コースであった石鎚山系や久住高原などの中四国・九州の山々から、1982 (昭和57) 年の八ヶ岳を皮切りに霧ヶ峰や富士山など中部山岳地方で合宿をしています。また、班別や個人山行では日本アルプスの山々に行っていたようです。

筆者もハイキング部では、そのはしりで夏ともなると個人山行で北・南アルプスや後立山連峰を縦走していました。

(3) 創部50周年記念祝賀会

2000 (平成12) 年頃にはハイキング部規約から「山」を外さないと持たないといったような議論まで行われていたようです。時代の流れ、若者の意識変化もあって部員の減少が続いていたようです。

一方、OB会員の中にリタイア組が出てきて、少し時間的余裕のある者から昔登った山にもう一度行ってみようとの声上がり、話はとんとん拍子に進み、中四国や九州の山で春と秋の2回、20名程で2泊3日の合宿をしています。その中で2019 (平成29) 年に創部50周年を迎えることから記念行事をやるという機運が高まりました。卒業後、大学を訪れる機会のない者も多くいるので愛媛大学のホームカミングデイの日程に合わせて、11月11日に全国から106名のOBが集まり、盛大に祝賀会を開催しました。この時、現役の部長も招待し共に盛り上がりました。次の60周年は私たちが開催しますとの力強い決意表明が今でも忘れられません。

コロナ禍の今年3月、OB会報「風のたより」第40号が届き、突然、ハイキング部が解散しましたとの経過報告がありました。OB会と相談することもなく、3回生5名の判断で解散届を提出したそうです。1、2回生0名、卒業する4回生2名の状況では苦渋の決断だったのかもしれません。

今年はOB会が設立されて50周年となることから、祝賀会を計画した実行委員会のメンバーが中心となって「現在・過去・未来」をコンセプトに「愛媛大学ハイキング部50周年特集」と題しての記念本を作成中です。



Career Report

ほたる
穂田琉代表

坂本 憲俊

[1977年卒業 法学科]



日本の原風景といえば、豊かに稲が実った田圃、手入れの行き届いた棚田という農村の景色を思い浮かべる人も多いだろう。蛍の乱舞する、東温市河之内ほたるの里。今回は、米と風景をテーマにほたるの里作りに取り組む「穂田琉」代表の坂本憲俊さんを紹介したい。私達は、6月13日(日)に恩田の「御田植祭」に参加しました～！



「御田植祭」当日は、前日の雨模様と打って変わり、良い御日和に恵まれた。まず、御田植祭の神事が行われ、豊作祈願の後、「恩田」(※)へ一本苗を植えていく田植が始まった。坂本さんの合図で一本ずつ手植えをしていく。親子で参加した人もありにぎやかだ。「恩田」への田植、最後まで泥んこになりながらも植え続けた男の子もいた。



坂本さんは、「田に引く水の流れの上流や水源を取り巻く環境が多く広葉樹林で占められており、ミネラルや養分を多

種大量に含む水が供給されることや、昼夜の寒暖の差や水が入れ替わる棚田であることが、美味しい米の条件である」と。

伊予の高千穂峽ともいわれる皿ヶ嶺連峰からの清らかな水、白猪の滝、唐岬の滝の水を集め、雨滝へ流れ込む。雨滝のミネラル水の恵みを受け、棚田に水を湛え、棚田に空が写る、山が写る、美しい棚田の風景だ。「雨滝」は、雨乞いの行場としても知られている景勝地だという。樹林に覆われ昼なお薄暗い滝壺は、祈りの場にふさわしい空気が漂う。

雨滝の岩場の上には、「イス」の木の群生(東温市指定記念物)が見られる。葉や枝に虫こぶが出来、虫の出た穴に口をあてて吹くと「ヒョウヒョウ」と音がすることから「ひよんの木」とも呼ばれる。



私には長年の疑問があった。「稲は同じ土地で、毎年作り続ける事が出来る。何故なのか？」というものだ。連作障害を防ぐため、畑では輪作を行い、毎年作物を変えることで対応する。米は、連作障害が起こらない、これは、「田圃に水を張る」という大発明のお陰であるということが解った。美しい田圃風景には、こんなチカラが隠れていた。水田にはキレイな水が流れ込んでいる。出て行く水もある。この水こ

そ美味しいお米の必須条件なのだ。水は、温まりにくく冷めにくい性質があり、水を張ることで温度の急激な上昇を防ぐことが出来、気温



温の変化からも守るのだという。

自然農法を取り入れ、無・減農薬、無化学肥料にこだわり「美味安心」の米作りをしている坂本さん。それを実行するのは、大変な手間と労力が要り、想像を絶する作業であろう。



坂本さんは、法文学部の卒業生なのに？ 米作り分野で多くの実績を残されている。もし、坂本さんを知らなくても、「にこまる」「ひめの凜」と聞けば、知っている筈である。又、「にこまる」は、昨年末開催された「米・食味分析鑑定コンクール国際総合部門」で最高の金賞に輝いた。それ迄も数々の荣誉に輝き、高い評価を得ている凄い人なのです。米(マイ)スターなのです。

日本人に無くてはならないお米。「炊きたての白いご飯さえあれば、もう何もいらない」という人も多い。有り難い、有り難いお米。日本で自給率を満たしている唯一の農産物だ。余談だが、かつての時代、お米は俸禄、武士のサラリーだった。

以前、国会答弁で、御茶碗一杯のご飯は、前総理安倍晋三氏曰く、26円であると(標準米だと思われる)。耳を疑った。安い！ 私も計算をしてみた。お米1合は150g(条件により多少の誤差が生じる)、5kg、2,200円として、1合は約66円。炊き上がり時点で、300g～350g、炊飯前に比べ約2倍以上の数値になる。中サイズのご飯茶碗に炊き上がったご飯を、普通盛りでよそえば、お米1合で2人分である。よって、御茶碗軽く一杯は、約33円となる。ここでは、水代・光熱費を含まない、お米代のみ(しかし、育ち盛りの子供や、沢山食べる人は、1人で1合位ペロリと平らげるだろう)。この値段は、他の主食に比べ格段に安いと思われる。

「ムシヤフナ=64827」。これは、江戸時代より伝わりとされる1升(10合)分の米粒の数を示す語呂合わせとか。誰が数えたのだろう？ 本当に、一粒も無駄には出来ない。

「御田植祭」当日は、夕暮れから蛍の乱舞がみられるという。蛍鑑賞は、残念ながら出来ず、後ろ髪を引かれる思いで帰宅した。夜には、きっと美しい穂田琉の里に蛍の乱舞が見られたことだろう。



※「恩田」……この地区名である「音田」は、神社を表す「恩田」が転じたものとされています。その由来により、稲作文化の伝承を目的に、自然農の米を栽培する「恩田」を開設しました。また、この場所は、東谷小学校前身の「河之内尋常小学校」跡地にあり、その縁により、雨滝の杜を前に万物の慈恩に感謝しつつ、人と自然が共生する学びの場として親しんでいただきたいと願っています。穂田琉 園主

参考文献 『いしぶみ』第40号「雨乞の里の米作り」

ドット・イーフォリオ 7号

2016年9月「社会共創学部始動」

取材：和氣坂ハナミ・廣田 章子

Career Report

日本政策投資銀行 松山事務所

高田 名奈

[2000年卒業・総合政策学科]



愛媛県「ひめボスメンター制度」 メンター(助言者)として

未来は今日から始まる

つらい状況やどうにもならないと思う環境であっても今の気持ちや行動によって未来が変わるという、私の好きな言葉です。今自分がおかれている状況や人間関係がつらくて、自分の気持ちとまわりの状況との乖離により葛藤がうまれるなら、自分の気持ちや行動を変える必要があります。なんで自分が変わらないといけなの、という理不尽さを感じても状況も環境も変わらない。それなら自分の心の持ちようやとらえ方で心地よくなれる方法を見つけていきましょう。

内閣府や厚生労働省が「ポジティブ・アクション」に取り組んでいるものの、日本の企業における男女労働者間の差はまだ解消されていません。性別役割分担意識やライフイベントによる女性のキャリア断絶が要因の一つと言われています。そしてそれは個人の問題だけではなく、企業においても会社内の女性ロールモデルの不在という状況を招くこととなっています。

愛媛県では愛媛県版イクボスとして「ひめボス」を推奨しており、「ひめボス宣言事業所」登録を進めています。そして「ひめボス宣言事業所」の新規拡大や、すでに宣言した事業所へのフォローアップを行うために「えひめ女性活躍推進強化事業」を行っており、「ひめボスメンター制度推進事業」を行っています。



愛媛県「ひめボスメンター制度推進事業」メンター中の様子

「ひめボスメンター制度推進事業」とは、社内にロールモデルとなるメンターが不在、もしくはメンター制度を導入するための余裕がない事業所において、ひめボス宣言事業所を一つの事業所と見立てて、メンティ(相談者)に対して社外のメンター(助言者)が面談を実施する愛媛県オリジナルのメンター制度です。組織、職種の枠を超えてメンティのキャリア形成だけでなく、人生における課題解決を支援する取り組みであり、私は2018年度からメンターとして事業に参加させていただいています。

メンターとして参加させていただくまでに、女性活躍に関する勉強会やセミナーに参加してきました。そこでその時々モヤモヤを参加者と共有することにより感じたのは「悩んでいるのは自分だけではない、みんないろいろなことを乗り越えてここにいるんだ」という想いでした。問題が起きたとき、どうしても自分だけの世界に入り「あの人が」とか「この環境が」といった思いにとらわれてしまうことがあります。しかしそういう時こそ人と会って話をすることが大事だったりします。

自分のことは自分一人ではわかりません。人とかわかることで自分のことが見えてきます。そのお手伝いをするのがメンターです。「なぜ自分はその状況を問題だと感じたのか」「本当はどうしたかったのか」「自分はどのようにしたいか」などを自分自身に問いかけてもらい、自分の核として何を大事にするのかを見つけてもらいます。



業務の一環で講師をすることも

メンターをしているからといって自分の仕事に悩みがないわけではありません。いまだに人間関係や業務内容のことで壁や見えないガラスの天井にぶつかることもあります。しかしそれをチャンスとしてとらえようと「キャリアコンサルタント」の資格取得の勉強を始めました。今後はさらにメンティに寄り添い、自分の核を探す手助けができるようになりたいと思っています。

自分の核を見つけるのはいつからでもできます。ぜひ人との関わりで「自分とは」、「自分の大事な核は何か」といったことを考える時間をつくってみてください。愛媛県の事業に参加したりキャリアコンサルタントへの相談などもぜひ活用してください。

とはいえ、本当に大変な時はそこから離れることも大事です。そんなときの私の救いは「愛媛の地酒」を楽しむことです。イベントなどでたくさんの人とおいしいお酒を飲んで、会話し、お酒の知識やお酒への想いを聞くことがリフレッシュになります。またたくさんの人たちと思いっきり乾杯し、楽しい時間を過ごすことを楽しみにしています。

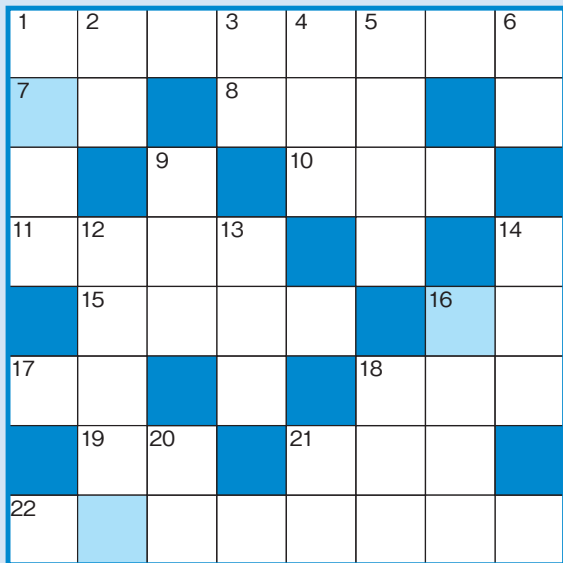
「愛媛の地酒で、かんぱ〜い!」



愛媛県酒造組合「ほろよいフェスタ2019」乾杯の音頭

クロスワードの色がついた部分の文字を並べ替え、愛媛県に関するお菓子の名前を教えてください。

(出題：H16卒・矢野彰大氏)



(出題：H16卒・矢野彰大氏)

●ヨコのかぎ

- ① ポアロシリーズの著者
- ⑦ ○○は友を呼ぶ
- ⑧ とても短い時間
- ⑩ 顔を覆い隠す
- ⑪ サッカー日本女子代表。
○○○○○ジャパン
- ⑮ 柑橘類の一種
- ⑯ 古語で「絶える」
- ⑰ 雨上がりの七色
- ⑱ 仙人が食べるとされてい
ます
- ⑲ 刀の持ち手
- ⑳ 長雨
- ㉑ 「鬼滅の刃」の作者

【解答】

●タテのかぎ

- ① タロットには大と小が
英語で「big」の読み
- ② 無いたても「つ」
- ③ 夏の始まり
- ④ ネズミイルカ科のイルカ
- ⑤ ストーン
- ⑥ ソーイングマシン
- ⑦ 容器などの預り金
- ⑧ 資源が枯れる
- ⑨ 足跡
- ⑩ 少数派
- ⑪ 中国の官吏登用試験
- ⑫ 英語で「雌牛」
- ⑬ マラソン選手。○●利彦

応募方法

同封の応募ハガキに正解をご記入の上、**2021年10月20日までに**に本会あてお送りください。

賞品

図書カード1,000円分 25人

第24号 パズルの答え



正解：
オオカイドウ(大街道)

前回パズル当選者(敬称略)

解答者 126人中、正解者 124人

図書カード1,000円分 (25人)

三村 進 (S38)、岡田 謙二 (S42)、盛田 隆 (S51)
河村 新吾 (S59)、鍋島 隆一 (S61)、橋本 祥子 (S62)
空田 賢治 (S63)、山村 好克 (S63)、松田 隆一 (H3)
松下 美智 (H4)、鳥井 幸一 (H6)、野町 太郎 (H7)
明賀 剛 (H8)、長野 善行 (H11)、永山 真弓 (H12)
菊川 奈美 (H13)、上谷 景子 (H14)、加藤 直也 (H17)
川原 章裕 (H20)、児玉 麻子 (H20)、森 健一 (H21)
坪内 かな (H24)、和田 瑛 (H26)、北野 達也 (H29)
青木 綾香 (H31)

役に立った記事、面白かった記事ランキング

1位は今治市海賊ミュージアム(43人)、2位は提供講座印象に残ったことば(28人)、3位は提供講座報告・感想(23人)、4位はサークル紹介(20人)、5位は退職教員(19人)、6位は卒業生から(17人)、研究室紹介(17人)、8位は表紙(15人)、9位は学部長対談(14人)、10位は青い地球交流記(12人)、以下、同期会(10)、パズル(9)、Heart to heart(7)、コロナの影響(6)、支部だより(6)、リクエスト・感想・編集後記(6) など

意見・感想

お褒めやお礼、励ましの言葉 (特に今回はコロナ禍での活動に関して) をたくさんいただきました。●県外に住んでいるので、いつも楽しみに読ませていただいています。今回のクロスワードはほどよくわかりやすかったです(最近難しかった)。何気に楽しみにしています。●大学卒業後はあまり愛媛に行く機会もなく、大学や松山の町がどのように変わっているのか楽しく、懐かしくみています。また子育てが落ち着いたら行きたいと思っていますが、それまで会報で愛媛大学の風景を写真などで楽しめたらと思っています。●会報が届くと、隅から隅まで読んでいます。当時の大学生活を思い出して、クラブ活動や講義の状況が蘇ります。●卒業生の皆さんが、愛大法文学部での学びを礎に、それぞれ活躍されている姿に励まされました。これからも、大学の今・昔・未来を発信していただけたら嬉しいです。地域に開かれた知の拠点として、今後益々の発展を祈念しています。●会報を読むのも楽しいですが、SNSでの発信も若い方には受け入れられやすいかな?と思います。●現在の愛大生の方の生活や、卒業された方の活躍、先生方の状況など、会報を読むことでよく分かるので、大変重宝しています。●大学の友達とも疎遠になりつつあります。会報を見ると大学時代を思い出し、友達に会いたくなります。●卒業してもなお、愛媛大学を思い出すきっかけとなる会報です。今後も大学で出会った人との交流を続け、大学生活を思い出したいと思っています。●3,000円でも寄付を受け付けてくれるのでありがたいです。●美しいカラー写真で学内の風景を紹介しており、発展していく母校の様子を知ることができて楽しみです。会報が届くと嬉しいです。●表紙に「コロナ禍で卒業式・入学式中止」とあり、胸が痛みました。励まし合って乗り越えていけたらいいですね。

主なリクエスト

●丹下先生のされていた活動を今のような方々が続けてくださっているのかは、ぜひ報告していただければありがたいです。●愛媛大学に行くことも今、ほとんどないので、学内がどのようなになっているのか興味があります。また、写真が多く掲載されている方が読みやすいので、増やしてほしいです。●もう少し現役学生たちの様子を知ることができる特集やページがあっても良いと思う。●学内の学食・カフェなどの紹介、メニューの紹介をしてほしい。自分が食べていたメニューはまだあるのか…など気になります。●法文学部に限らず頑張っている部活やサークル活動の紹介をしてほしい。●退職された先生のその後が知りたいです。元気でご活躍であれば願っています。

パズル等の解答にいただいた個人情報は、同窓会事務局が適切に管理し、賞品の発送および名簿データの更新にのみ使用いたします。

【編集後記】

- 新型コロナ禍で記事の取材もままならず、編集会議もズームが多く、会報の編集も大変でした。早く、普通の日常生活に戻って欲しいと願っています。(西田)
- とにかくCovid-19に振り回された一年でした。大学も対面授業が一部再開されてはいますが、まだまだ平常に戻ったとは言えない状況です。同窓会活動も大きな制約を受けています。1日でも早く平穏な日常に戻ることを祈っております。(松本)
- 読者に思いをせながら、チームでの編集作業。コロナ禍でネタ不足になりながらも、一丸となり心をこめた会報ができあがりました。(渡部)
- 7月に初孫ができました。病院には入れず、退院後に初の対面です。こんなに小さかったっけ? が実感でした。25年ものことですからネ……。(鳥生)
- 新型コロナの副産物として、社会ではIT化が加速度的に進んでいます。取り残されないよう頑張っていますが、世代交代の波を痛感しています。(久保)
- 今号の発行の頃にはコロナも収束していると思っていたのですが、甘かったです。それでもオリンピックは開催され、金メダルラッシュ! この明るいニュースがオリンピック後に暗転しないことを祈ります。(野寄)
- コロナの影響もあって何か新しい楽しみを、メダカを飼い始めました。色模様や形が多様なことや、産卵から稚魚の誕生というドラマを間近に見られるのが魅力。目を楽ませてくれて日々の癒しになっています。(小林)
- 先日、2度目の東京オリンピックの開会を迎えた。人生で2度もオリンピックが体験できるなんて……。でも、コロナ禍のもとで、思いもよらなかった。(廣田)
- 徳田琉(P30)の取材で東温市に関わり、東温市には風光明媚な素晴らしい所が沢山あり驚きました。(和氣坂)
- 対面での活動が難しい今だからこそ、ICTを活用することで同窓会活動も広域に効率よく行い続けたいと思います。(土井)

発行 2021年9月
発行 愛媛大学法文学部同窓会
編集 愛媛大学法文学部同窓会編集委員会
事務局所在地 〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内
TEL 090-1002-6376
印刷 アマノ印刷